



令和7年度予算と主要事業の概要 (重点施策抜粋版)

和歌山市



令和7年度当初予算のポイント

産業の高付加価値化や活力ある民間企業との共創を通じ地方経済の活性化を図るとともに、子育てや交通、生活道路など暮らしに紐づく環境の向上に取り組むことで
地方創生における「成長の主演」として社会増の実現へ



成長と福祉の好循環を形成する予算

ふるさとで

学び働けるまち

産業を支える人材の育成 -ふるさとで働く“人”を育てる

本市で生まれ育った方がふるさとで学べる環境の充実を図るとともに、仕事も見つけ働くことができる、また一度は離れた方にも就職とともに生まれ育ったまちへと回帰いただけるような仕組みづくりを行います。また、求職者のスキルアップに係る支援や、働く女性の活躍推進に取り組むとともに、若者起業家に対する支援を強化するなど、全ての人が希望する仕事に就き、いきいきと働くことができるような環境づくりを進めます。

ふるさとで学べる環境づくり

シティプロモーション課 (R7)
(移住定住戦略課 (R6))

● 専門性の高い大学・専門学校等の誘致 (継続)

本市に足りていない分野等の大学誘致を更に推し進め、ふるさとで学べるまちを目指す

ふるさとで働けるまちへ

産業政策課

● 「FAVTOWN」を活用した市内就職マッチング (新規) 3,938千円 【内示資料No.1】

関係人口創出事業「FAVTOWN」内に企業ページを作成・掲載し、企業への応募を促進するのに加え、希望者が企業からダイレクトスカウトを受けられるように市内就職マッチングサービスを導入

市内就職・ふるさと回帰 (Uターン) を促進し
若者の流出を抑制 + 市内企業の人材確保を支援



人材のスキルアップ

産業政策課

● デジタル人材の育成 (継続) 6,982千円

生産性向上に資するデジタル人材を育成し市内就職につなげるため、求職者へのデジタルスキル習得研修及び伴走型の就職支援を行う

就職の支援・マッチングの強化

産業政策課

● わかやま就職応援プロジェクト (継続) 7,509千円

幅広い年齢層を対象に合同企業説明会をはじめ各種事業を実施し、求職者と企業のマッチング強化及び市内就職を促進

● 働く女性の活躍推進 (継続) 2,192千円 産業政策課

保育士を配置した無料託児所付きの合同企業説明会を実施し、女性求職者と企業のマッチングを図る。就職活動や子育て等を支援するための各種相談コーナーを設置

● 奨学金返還支援 (継続) 2,665千円 総務課

市内の医療、福祉・介護分野などの企業に専門的職種で就職・定着した学生に対し、企業と本市が連携して奨学金の返還を支援

創業の支援

商工振興課

● 女性、若者、シニア新規開業資金等利子補給金 (拡充) 3,000千円 【内示資料No.2】

日本政策金融公庫の実施する新規開業資金等を借り受けた方を対象に利子の一部を補給することにより、市内での新規創業促進を図る

女性・シニアに加え、令和7年度より若者起業家を対象に追加

市内産業の活性化

市内企業による生産性の向上や従業員の所得向上のための取組を支援し成長を後押しするとともに、本市産業の発展を牽引する起爆剤として、好機を逃さぬ企業誘致をこれまで以上に推進します。

市内企業の生産性向上

産業政策課

● 企業立地促進奨励金制度（継続）81,352千円

● 所得向上補助金（継続）20,000千円

生産性向上やデジタル化、従業員の所得向上を促進するため、給与増加を伴う設備投資を行う企業に取得価格の一部を補助

対象業種の拡大により、幅広い業種の実産性・従業員所得向上を促進

製造業、道路貨物運送業に加え、卸売業、小売業など多様な業種に対象を拡大



● デジタルツールの導入支援（継続）3,023千円

IT・IoTツール、AI又はロボットの導入を支援し市内中小企業者の生産性を向上させるため、展示会の開催及び導入の補助を実施

大規模用地を活用した企業誘致

産業政策課

● リーディング産業の誘致（継続）

コスモパーク加太など大規模用地への誘致を念頭に、GX産業等について調査等を実施

● 西防波堤沖埋立地への企業誘致促進（継続）

関西電力所有地における、事業者によるGX産業等の誘致活動を促進



● 企業立地アドバイザーの活用（継続）530千円

更なる発展の基盤となる道路網

産業の活性化や企業誘致の促進、大規模災害時の広域防災拠点への高速道路アクセスの充実を図るためには、広域道路ネットワークが必要となるため、和歌山環状北道路等の早期事業化を国へ要望します。また、市の基幹道路である都市計画道路の整備を進め、道路ネットワークの構築を図ります。

●和歌山環状北道路の早期事業化・和歌山環状道路の実現に向けた働きかけ

(継続) 2,188千円 道路政策課

国への要望、国・県・市の勉強会等を通じて、早期事業化を働きかける

●都市計画道路の整備

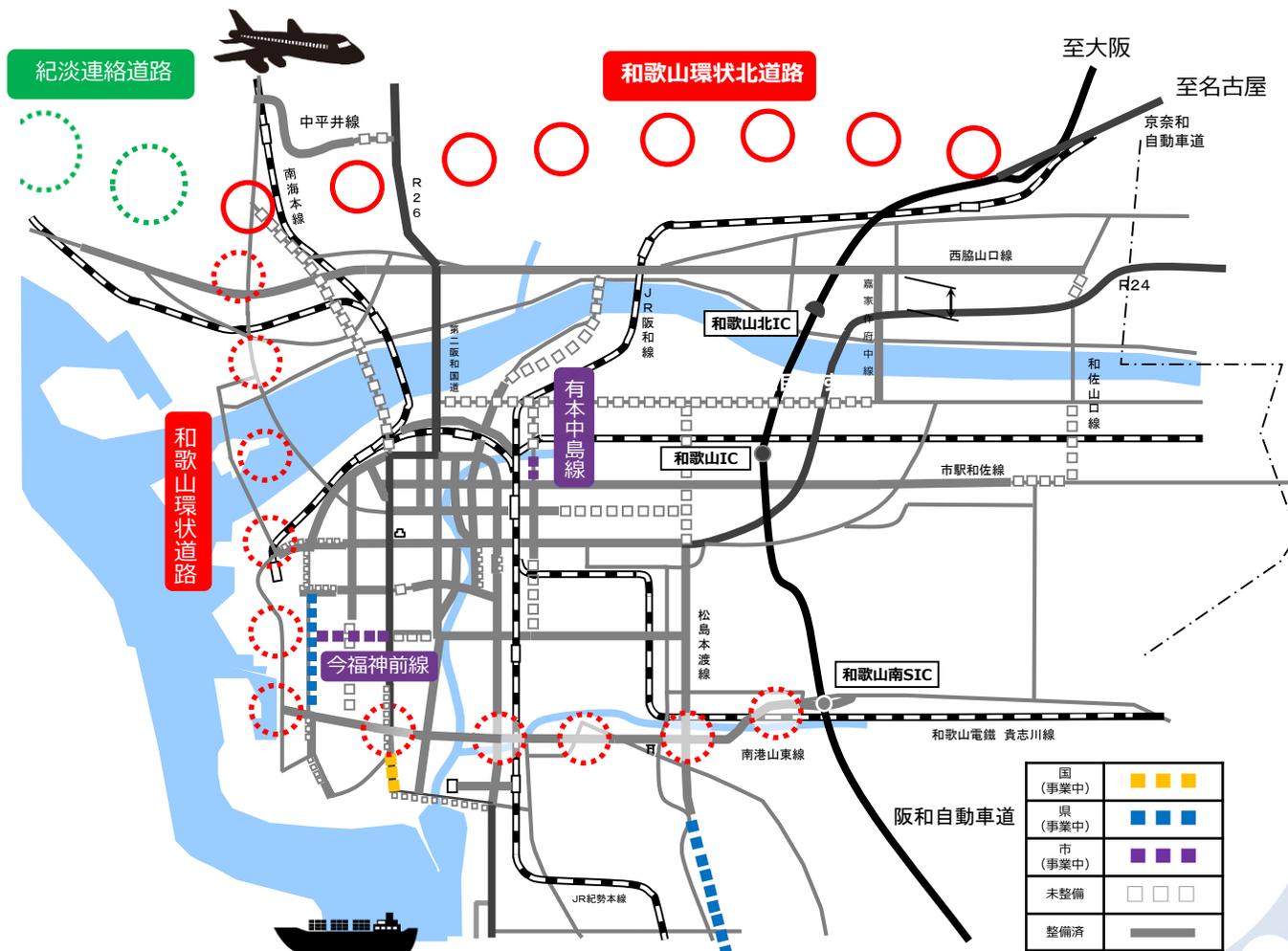
(継続) 240,186千円 道路建設課

都市計画道路のうち重点整備区間道路の整備を促進
令和7年度 今福神前線、有本中島線



今福神前線

令和7年度末
道路新設区間の暫定供用を目指す



強い農水産業づくり

本市の「食」の振興と農水産業事業者の所得向上、農村・漁村の活性化に向け、市内農水産物等の活用に向けた取組や稼げる産地化、農水産物のブランド化につながる取組を支援し、農水産業の稼ぐ力の向上を目指します。また、併せて環境にやさしく持続可能な農水産業の推進や農水産業の担い手育成・確保に取り組み、強い農水産業づくりを進めます。

農水産物の販売・流通強化

● 農水産業みらい創生事業補助金（新規）3,000千円

【内示資料No.3】 農林水産課

市内農産物や農水産活動による副産物の活用による商品を新たに開発し、販路の開拓を行う活動を支援



新商品開発
起業・事業拡大
新販売形態

多角的なアイデアによる新規性の高い取組を総合的に支援し、新たな経営モデルの創出へ

● 中央卸売市場の再整備（継続）821,051千円

中央卸売市場

令和8年度の市場再整備完了に向け、新青果卸売場棟の建設（令和7年12月完成予定）を進める

稼げる産地化・ブランド化の推進

● 野菜花き産地強化事業補助金（拡充）4,990千円

【内示資料No.5】

農林水産課

野菜花きの産出額の増加を図るため、スマート農機等の導入、施設園芸のDX、ハウスの高度化等を行う農業者に助成を行う

● 野菜等の産地化の推進（継続）1,250千円

複合経営による農業所得の向上を図るため、非かん水期の農業用水を確保するための打ち抜き井戸の設置に係る費用を助成

● 魚礁の造成による沿岸漁業の整備（継続）39,131千円

環境にやさしい・持続可能な農水産業の推進

● 有機農業等の推進（拡充）1,020千円

【内示資料No.6】

農林水産課

- ・有機農業等の担い手確保
- ・環境保全型農業直接支払交付金

● オーガニック給食の推進（拡充）2,228千円

給食管理課（R7） / (保健給食管理課（R6）)

【内示資料No.7】

全市立小学校・義務教育学校（前期課程）において有機食材や有機米を使用したオーガニック給食を実施



農林水産課

● つくり育て管理する漁業の推進（継続）4,818千円

農水産業の担い手育成・確保

農林水産課

● 次世代を担う新規就農者の育成支援

- ・農業経営発展支援事業補助金（継続）11,250千円
- ・農業経営開始補助金（継続）11,250千円
- ・経営継承応援事業補助金（新規）500千円【内示資料No.8】

● 市民農園開設等の支援（継続）750千円

● 遊休農地対策の推進（継続）700千円

● 漁業の担い手育成支援（拡充）12,925千円

【内示資料No.9】

“稼げる観光”の推進

クルーズ船の寄港やコンベンションの開催等、多くの人々が来訪する機会を捉え、市内での周遊と消費活動を促進するための取組を推進します。また、万博会場である夢洲や関西国際空港から和歌山を訪れた際の玄関口となる立地を生かし、県内観光地のゲートウェイとしての機能を強化することで、本市への来訪と宿泊を促進します。併せて、観光コンテンツの創出に取り組むなど、“稼げる観光”の推進を図ります。

観光消費の拡大促進

観光課

● クルーズ船の活用（拡充）8,118千円 【内示資料No.10】

和歌山港に寄港するクルーズ客船に対し、おもてなしや観光案内を実施する。また、寄港数増加に向け招致活動を実施



令和7年度は
過去最多の**24回**
クルーズ船が寄港予定

消費拡大のため飲食店等と
連携したキャンペーンを実施

● コンベンションの誘致と消費拡大（拡充）38,192千円 【内示資料No.11】

本市で学会、会議、各種大会等の催しを開催する主催者に対し補助金を交付することで全国大会等の誘致を推進。補助要件の見直しにより一定の延べ宿泊者数のあるコンベンションの開催を促す

令和7年度よりコンベンション参加者に市内消費促進のクーポンを配布

宿泊だけでなく更なる市内消費に
つながるような仕組みづくりを推進

観光ゲートウェイ機能の強化

観光課

● 高野山へのアクセス向上（新規）

本市の県内観光ゲートウェイとしての位置づけを進めるため、高野山への往來の利便性を向上させる交通ルートについて、交通事業者への働きかけを行う

【内示資料No.12】

● JR 和歌山駅の観光案内機能強化（新規）2,598千円

JR和歌山駅1階案内所の休日開設に向けた民間事業者との連携を進めるとともに、わかちか広場の更なる活用について研究を進める

観光コンテンツの造成

観光課

● 稼げる観光コンテンツ創出支援（拡充）4,610千円 【内示資料No.13】

地域資源を生かし観光コンテンツを創出する事業者に対し経費の一部を補助し、令和6年度採択事業者に対しては内容の充実及び自走化を促す

● 紀州おどり「ぶんだら節」を活用した誘客強化（継続）9,900千円

市民が踊りに参加する仕掛けや楽しくてつながりも生まれる体験の融合、滞留拠点の創出など更なる進化を図ることにより、祭りの活性化、インバウンドを含む観光誘客促進を目指す

光の彩りを軸とした夜間観光の推進

光の彩りを軸とした夜間観光コンテンツを展開し、ナイトタイムエコノミーの推進を図ります。四季折々のライトアップや冬季のイルミネーションを効果的に活用するとともに、起爆剤となる目玉コンテンツとしてドローンショーを複数開催することで、夜間の更なる消費拡大を図ります。

夜間観光コンテンツのツーリズム化

●まちなかイルミネーションの活用推進

・JR和歌山駅前イルミネーション
(継続) 4,127千円 商工振興課

・市堀川水辺のライトアップ
(継続) 1,071千円 まちなみ景観課

・けやき大通りイルミネーションとの連携(継続) 商工振興課



100万球のイルミネーションとの連携でまちなかでの回遊・消費を促進

●稼げる観光コンテンツ創出支援 【内示資料No.13】
(再掲) 4,610千円 観光課

消費につながるコンテンツを創出



●港まつりの再編・魅力化 【内示資料No.14】
(拡充) 23,810千円 商工振興課

◆花火とドローンショーの競演による魅力の向上

◆イベントの充実等による滞在時間の延長や宿泊促進



●天守閣上空での 和歌山城整備企画課
ドローンショー開催
(新規) 21,250千円 【内示資料No.15】

象徴性・視認性の高い和歌山城天守閣上空でドローンショーを開催し、城内ライトアップの特別な演出と組み合わせ、夜間も楽しめる城として更なるプロモーションにつなげる

夜間観光の起爆剤となる目玉コンテンツとして3回開催

台数を400機から500機に増やし令和6年度よりもパワーアップ



●四季を通じたライトアップ 和歌山城整備企画課
和歌山城～光の回廊～ (継続)
季節に合わせて和歌山城公園内をライトアップし、周辺での夜間の観光につなげる
四季折々に合わせ変化するライトアップでリピート来訪を誘起



●ナイトタイムエコノミーの推進(継続) 2,400千円 商工振興課

自然と歴史を生かした観光拠点の形成

道の駅「四季の郷公園」等の活用により、歴史と自然を生かした観光拠点の形成を図るなど、誘客と消費につながるコンテンツの強化を目指します。また、日本遺産の活用や新たな観光資源の獲得等を通じ、将来的に観光拠点となるエリアの形成を目指します。

道の駅「四季の郷公園」の観光拠点化

● 四季の郷公園の活用推進（継続） 56,213千円 農林水産課

イベントの拡充等とともに転落防止柵の取替えやネット遊具の張替を実施し、観光拠点として魅力と安全性を高める

● 四季の郷公園閑散期のにぎわい創出（新規） 3,000千円 【内示資料No.16】 農林水産課

閑散期のにぎわい創出に資する取組により、四季の郷公園への誘客を図り、「農に触れる、自然を体感する、食を楽しむ」機会をより多くの来園者に提供する

● 熊野古道の整備（新規） 8,255千円 【内示資料No.17】 文化振興課

来訪者に快適に散策してもらえよう、石畳風ストリートプリントや分岐点への看板設置を施し、熊野古道紀伊路の風致向上を図る

四季の郷公園そのものの更なる魅力化に加え
熊野古道紀伊路など周辺の資源も活用した
面的な取組によって新たなステージへ



歴史を生かした観光資源の面的活用

【内示資料No.18】

● 日本遺産「葛城修験」の活用推進（拡充） 870千円 観光課

葛城修験の更なる活用、魅力発信のため、MAPの作成や看板の設置を行う



【内示資料No.19】 文化振興課

● 国指定史跡鳴神貝塚の保存活用（新規） 22,471千円

国指定史跡鳴神貝塚の史跡整備に向け土地の公有化を行う

新たな観光拠点の形成

中央卸売市場

● 中央卸売市場南用地の活用検討（継続）

再整備により生まれる余剰地を活用するための検討を進める



イメージ

「絶景の宝庫 和歌の浦」の新価値創出

日本遺産「絶景の宝庫」として認定されている和歌の浦地域において、公民共創の取組の更なる推進により、ブランド化を目指すプロジェクトを立ち上げます。また、和歌の聖地・和歌の浦千三百年記念大祭の開催により高まった機運を更に育て上げるべく、「和歌の聖地・ベイオブポエムズ」と銘打ち、和歌を通じた国内外への魅力発信に取り組むなど、新価値創出のための取組を推進します。

▶ 公民共創による活性化

- **和歌の浦ブランド化プロジェクト** 【内示資料No.20】
(新規) 20,000千円 シティプロモーション課〈R7〉 (企画政策課〈R6〉)

和歌の浦地域固有の食や景観などの魅力、未利用・低利用の空間資源などを活用する民間投資を呼び込み、集客力の高いコンテンツを創出・集積するため、地域のブランド価値向上を図る

- ・ 浪早崎、番所庭園等の活用検討
- ・ 観光遊歩道の更なる整備
- ・ 廃旅館等の適正管理・活用促進



など



民間事業者との共創・
全庁的な連携により
和歌の浦のブランディングを推進

▶ 歴史文化の魅力発信・風致の向上

- **和歌祭の開催支援 (継続) 6,769千円** 観光課
- **和歌の浦あしべ庵の活用 (継続) 4,668千円** 都市再生課
- **和歌浦口雑賀崎線電線地中化・美装化 (継続) 5,000千円** 道路建設課

▶ 「和歌の聖地」としての取組の推進

文化振興課

- **和歌の聖地・ベイオブポエムズ (新規) 3,495千円** 【内示資料No.21】
「和歌の聖地」としての和歌の浦の魅力を高め発信する取組を推進

◆ 和歌サミット ～Bay of Poems～

インバウンド等に和歌の歴史・文化を体感してもらうため、著名人などを招いた和歌サミットを開催

◆ 英語で和歌を楽しむためのコンテンツ造成

◆ 万葉歌碑解説・英訳の設置



和歌披講 (R3)



時代絵巻行列 (R6)

地域や民間団体と連携しながら
「和歌の聖地」として魅力を国内外へ発信

観光プロモーションの強化

構築中の新たなプラットフォームに観光情報や体験メニューを一元化し、より効果的な発信を行うのと合わせ、宿泊促進キャンペーン等の取組を多層的に展開する“攻めのプロモーション”を推進します。また、インバウンドや万博来訪者などターゲットに合わせた情報発信により誘客強化を図るとともに、旅行会社等への働きかけにより観光商品の造成を促進します。

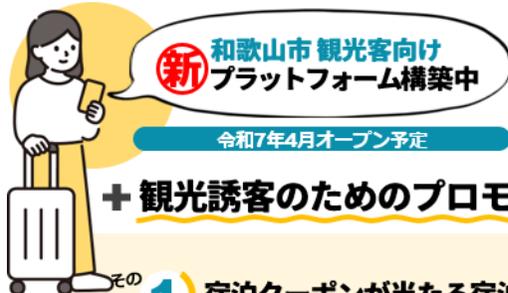
効果的な情報発信によるプロモーション

観光課

● 万博を契機とした観光誘客プロモーション強化

(新規) 22,093千円【内示資料No.22】

大阪・関西万博の開催を契機として、本市の認知度向上及び誘客促進の取組を強化



観光発信のためのサイトをリニューアル

将来的に.....

- 和歌山市の観光情報・体験メニューを一元化
- こだわりポイントを入力してコースを検索
- ワンストップで予約・決済

+ 観光誘客のためのプロモーション施策を多層的に展開

- 1 宿泊クーポンが当たる宿泊促進キャンペーンを実施
- 2 体験型コンテンツを整理しOTA (オンライン旅行代理店) サイトに特集ページを掲載
- 3 対象を明確にしたSNSターゲティング広告配信
- 4 ご当地リーフレット・POPを作成し宿泊施設に設置

好機を逃さず観光客を呼び込む
“攻めのプロモーション”を推進

インバウンド向けプロモーションの強化

観光課

【内示資料No.23】

● インバウンド向けSNS広告 (新規) 2,222千円

各国の主要な連休に合わせターゲットを絞ったSNS広告を配信し、主要な連休における誘客促進と消費拡大を図る



インバウンドの4割以上が
SNSから旅マエ情報を取得

※インバウンド消費動向調査) 2024年7-9月期より

海外の長期休暇などに合わせた旅行プランを
3か月前にSNS広告として配信

観光商品の造成促進

観光課

● 旅行会社等を対象としたファムトリップの開催 (新規) 982千円【内示資料No.24】

首都圏を中心とした旅行会社を対象に市内の魅力を実際に体感してもらうファムトリップを実施し、商品造成につなげる

● 人的プロモーション活動の強化 (継続) 1,485千円

本市へのツアー造成やメディア露出を目的とした売り込みを強化

シティプロモーションの推進 - 新たな価値のプロモーション

市民が愛着を持って住み続けられ、また市外の人にも住みたいと感じてもらえるような、きらりと輝くまちの魅力の発信に取り組み、シビックプライドの醸成と関係人口の増加を図ります。

シティプロモーションの推進

シティプロモーション課〈R7〉
(広報広聴課〈R6〉)

●シティプロモーションの強化(新規) 7,169千円 【内示資料No.25】

映画のような映像美を追及したPR動画を作成し、駅広告やインターネット上での公開を通じ国内外に効果的に発信することで、本市の認知向上・興味喚起を図る

歴史を生かしたプロモーション

シティプロモーション課〈R7〉 (広報広聴課〈R6〉)

●大河ドラマ『豊臣兄弟!』放映に向けたPR強化(新規)

令和8年大河ドラマ『豊臣兄弟!』の放映に合わせて本市の魅力を発信すべく、各団体等との連携強化及びコンテンツ作成等の準備を進める



太田城水責図

関連する団体や自治体と連携しながら
ロケの誘致や番組でのPR促進を図る

2026年の放送に向け、
市全体の盛り上げと
コンテンツ作りを推進

●近畿歴史まちづくりサミットの開催(新規) 2,125千円 【内示資料No.26】都市再生課

「豊臣兄弟とライバルたち ～織豊期の城とまちづくり～」をテーマに、近畿地方において歴史まちづくりに熱心に取り組んでいる都市等の関係者が本市に一堂に会し、取組や成果などの発信、意見交換や基調講演を行う

将棋文化の普及とプロモーション

文化振興課

●将棋タイトル戦の誘致(継続)

竜王戦和歌山対局が開催されたことを契機として本市における将棋人気が高まる中、この盛り上がりを一過性のものとしないう市民の文化芸術の拠点である和歌山城ホールにて引き続きタイトル戦を誘致



●将棋大会等の開催(拡充) 1,129千円 【内示資料No.27】

小・中学生から大人までを対象とした将棋大会・将棋講座を開催することで本市の将棋文化の普及を図る

新たな価値の創出

スポーツ振興課

●eスポーツ大会等の誘致(新規)

近年、市場が拡大しているeスポーツに関連する大会等のイベント誘致を通じて、デジタル世代の担い手に新たな交流の場を提供するとともに、地域経済の活性化を図る



(イメージ)

移住・定住の推進 -住みたい、住み続けたいと思われるまち

継続的な社会増の実現に向け、移住者支援の取組を推進します。移住プロモーションや暮らしを体験するトライアル和歌山市を通じて本市の魅力を知ってもらい、移住の促進を図ります。また、将来を担う若者たちに住み続けたいと感じてもらえるよう、人と人、人と地域のつながりを深め、地域への愛着の醸成と、併せて関係人口の拡大を目指す取組を推進します。

魅力発信の強化

シティプロモーション課〈R7〉
(移住定住戦略課〈R6〉)

- **移住プロモーションの展開（継続）11,216千円**
HP、動画、SNSを活用した情報発信や本市の暮らし体験により関係人口増加を図る
- **移住フェア等への出展（継続）1,205千円**
移住希望者の様々な相談を一括して受け付けるワンストップパーソンを中心に本市の魅力をPRし、希望に沿った提案等を実施

暮らしの体験の充実

シティプロモーション課〈R7〉（移住定住戦略課〈R6〉）

- **ワーケーション等の推進（拡充）5,600千円** [内示資料No.28]
ワーケーション等により県外企業を誘致する市内事業者を育成し、本市の受入体制を構築することで、本市に関わりを持つ企業を増やし、転職なき移住やオフィス誘致に伴う移住等を促進
- **トライアル和歌山市の推進**
 - **トライアル和歌山市の利用促進（継続）900千円** シティプロモーション課〈R7〉
(移住定住戦略課〈R6〉)
本市での暮らしを体験いただいた方やワーケーションを行った企業に対し活動経費の一部を支援
 - **トライアルスクールの推進（継続）** 学校教育課
住民票を異動させることなく、都市圏の小中学生が、和歌山市の公立小・中・義務教育学校で学ぶことができるトライアルスクールを実施

人のつながりと愛着の醸成

シティプロモーション課〈R7〉
(移住定住戦略課〈R6〉)

- **FAVTOWNの活用（継続）3,300千円**
ふるさと和歌山市に回帰する可能性を増やすため、主に進学や就職等を契機に市を離れる若者との関わりを維持し深める関係人口創出施策を推進

2024年度 グッドデザイン賞 受賞



まちや地域と学生をつなぐ

シティプロモーション課〈R7〉（移住定住戦略課〈R6〉）

- **和歌山城ホールの学生交流拠点化（継続）**
シティプロモーション課〈R7〉（移住定住戦略課〈R6〉）
- **大学を盛り上げる応援イベントの実施（継続）**
高校生の市内定着と市内大学の活性化を図るため、市内高校生と大学が互いの関係性を構築できるよう、両者が交流できるイベントを開催
- **まちなか空き家の学生専用シェアハウス整備補助（継続）4,500千円** 耐震・空家対策課〈R7〉（空家対策課〈R6〉）
- **地域フロンティアセンターの活用（継続）16,640千円** 市民自治振興課

県都として

活力にあふれたまち

JR和歌山駅周辺グランドデザイン

県内最大の交通結節点としての機能強化と併せ、周辺の商店街や友田町三丁目再開発などとの一体的な価値向上、けやき大通りを通じたまちなかへの回遊性向上などにより、「和歌山のゲートウェイ」をコンセプトに、本市の、そして県の玄関口に相応しい「駅まち空間」の創出及び周辺の活性化を目指します。



グランドデザインのコンセプト

和歌山のゲートウェイ

～ 玄関口として魅力あるまちなかへ～

●和歌山駅まち空間活性化基本計画の策定準備 (継続) 13,119千円 都市再生課

令和6年度に、JR西日本・和歌山県・和歌山市の3者で策定した「和歌山駅まち空間活性化基本構想」をもとに、令和7年度は、関係者（鉄道利用者、交通事業者、周辺の商業事業者、デベロッパー、市民等）との合意形成に取り組む

●友田町三丁目再開発の推進（継続） 都市再生課

令和7年度中の都市計画決定を目指し、まちなかの活性化に寄与する施設整備を引き続き検討するため、準備組合を支援する

出典：国土地理院ウェブサイト
地理院地図を加工して作成

南海和歌山市駅周辺グランドデザイン

市民はもちろん、本市を訪れた人にとっても憩いの場となる、「まちの居場所」としての空間づくりを目指します。これまでの取組により賑わいの拠点となっている市民図書館・キーノ和歌山に加え、民間資本により魅力的な都市空間を目指す旧市民会館跡、和歌山市駅前南地区再開発などとの一体的な利活用により、レジャー・文化・教育など様々な機能を備え、通過点でなく目的地となる魅力あるエリアの形成に向けた取組を進めます。

出典：国土地理院ウェブサイト
地理院地図を加工して作成



グランドデザインのコンセプト

まちの居場所

～ 通過点から目的地へ～

都市再生課

● 和歌山市駅前南地区再開発の推進 (継続)

令和7年度中の都市計画決定を目指し、まちなかの活性化に寄与する施設整備を引き続き検討するため、準備組合を支援する

● 旧市民会館跡活用 (継続)

優先交渉事業者と事業契約を締結するとともに、にぎわい・交流の創出、都市機能の充実を図るため伴走する

都市再生課



● 河西橋の架け替え (継続) 489,550千円

道路建設課

令和7年夏の供用開始を目指す

【内示資料No.41】

● 紀の川緑地の整備 (拡充) 9,000千円

公園緑地課

紀の川第5緑地 (上流側) のグラウンドゴルフ場、ゲートボール場等の再整備を実施する

令和7年度 実施設計、令和8年度・9年度 工事 (予定)

● 有吉佐和子記念館の運営 (継続) 9,949千円

文化振興課

徳川御三家の居城 和歌山城の更なる魅力向上

築城440年を迎える史跡和歌山城のかつての姿を再現すべく、北辺櫓群や扇の芝の整備に向けた取組を進め、歴史的魅力の更なる向上を図るとともに、キャッシュレス決済の導入や景観の維持向上など、観光客受入体制の強化を図り、市民からも観光客からもこれまで以上に愛される和歌山城を目指します。



観光客受入体制・景観の向上

和歌山城整備企画課

- **キャッシュレス決済の導入（新規）1,871千円** 【内示資料No.33】
天守閣及びわかやま歴史館の入場料支払について、キャッシュレス決済を導入し、観光客の利便性向上を図る

- **和歌山城公園動物園クマ園舎の改修（新規）4,774千円** 【内示資料No.34】
老朽化の目立つクマ園舎について、飼育環境改善や安全性強化に向けたリニューアルのため改修工事の実施設計を行う

- **天守閣ライトアップ設備のフルカラーLED化（新規）3,033千円** 【内示資料No.35】
ライトアップ設備のフルカラーLEDへの更新に向けた設計を行う

- **和歌山城公園の樹木管理（継続）5,079千円**
天守の見える景観の維持向上のため、史跡和歌山城樹木管理計画に基づき、遺構に影響のある枯損木等の撤去・伐採を進める

- **季節に合わせた和歌山城のライトアップ（再掲）**

史跡和歌山城の歴史的魅力向上

和歌山城整備企画課

- **北辺櫓群の整備（拡充）9,025千円** 【内示資料No.32】

北辺櫓群の整備に向け、和歌山城二の丸北辺櫓群のうち、未調査部分（土塀・中多門櫓）の発掘調査を行う



イメージ

- **扇の芝の整備（継続）4,877千円**

扇の芝に面し、これまで建物で覆われていた砂の丸（南）西面の石垣において三次元測量及び石材劣化調査を実施



イメージ

- **岡口門の保全及び周辺整備（継続）**

和歌山城公園で唯一の国指定重要文化財である岡口門について、これまでの調査成果をもとに全体の修理方針・計画を策定

乗って、歩いて、便利で楽しいまち

自動運転などの新たな技術・新モビリティの導入に向けた検討を進めるとともに、ライドシェアなどの新制度の活用等により、利便性や回遊性の向上に取り組み、目的に応じた様々な交通手段を提供することで、誰もが移動しやすく、便利で楽しいまちを目指します。また、地域の民間活力を最大限活用し、歩きたくなる良質な都市空間の形成を目指します。

▶ 持続可能な新モビリティの導入

交通政策課

● けやき大通りににおける自動運転バス導入の検討（継続）

令和5、6年度に自動運転レベル2で行った実証運行の結果をもとに、自動運転レベル4の実装を目指して取り組む



令和6年度の実証運行の様子①



令和6年度の実証運行の様子②

けやき大通りイルミネーション等のイベントに合わせた実証運行により観光利用も促進

● LRT導入可能性の検討（継続）

令和6年度から実施している導入可能性調査を引き続き実施し、道路幅員や交差点での右左折など、主に物理的な観点から、導入の可能性を探る



宇都宮市LRT

▶ 誰もが移動しやすいまちに向けて

交通政策課

● ライドシェアの推進（新規）

「日本版ライドシェア」について、令和7年2月から、本市内において、タクシー事業者3社（計5台）が運行中。今後は、その運行状況等を勘案しながら、ライドシェアの拡大可能性（日数、台数等）等について検討を行う



運行中のライドシェア

● グリーンスローモビリティの活用検討（継続）

▶ ウォークブルシティの推進

● 北ぶらくり丁商店街における道路空間の再編（継続）

市道北ぶらくり丁線の改良や道路空間作り（ベンチや植栽の設置等）について引き続き検討する

都市再生課



社会実験の様子①



社会実験の様子②

● まちなかイロドリの実施（継続）2,996千円

商工振興課

まちなかの空き店舗等を活用して試験的に出店する場を設けることで、将来のまちなかへの新規出店につなげ、まちなかに雇用と賑わいを創出



空き店舗



営業中

市堀川かわまちづくりの推進

市堀川周辺において、事業者のニーズに応じ、河川敷地で賑わい施設等の営業活動が可能となる取組を進めるとともに、旧帝国座跡周辺や京橋親水公園の活用促進など、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す「かわまちづくり」を進めます。

市堀川かわまちづくり対象エリア



● 民間事業者による河川空間利用を推進（新規）

河川港湾課

地域の合意形成を図り、市堀川の河川管理者である和歌山県に、一部区間（城北橋から堀詰橋までの河川区域）の都市・地域再生等利用区域への指定要望を行い、令和7年夏までの指定を目指す。指定後は、市が窓口となり、民間事業者による河川空間利用を進める

都市・地域再生等利用区域が指定されるメリット

営業活動を希望する事業者等が、占用許可を受ければ、河川敷地において、イベント施設やオープンカフェ等を設置することが可能になり、地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用に繋がる

● 旧帝国座跡周辺の民間事業者の活用促進（拡充）

河川港湾課

雑賀橋付近の護岸整備、旧帝国座跡の民間活用の促進に加え、民間施設オープンに伴う人流の増加を周辺エリアにも波及するよう促す

令和7年度 オープン予定



旧帝国座跡の水辺活用イメージ

● 京橋親水公園の活用（継続）

公園緑地課

公園の多目的広場を、まちなかでの賑い創出に寄与することを目的として、物販やイベントなど民間事業者による利活用を促進する



市堀川夜市



屋台船

地域の個性を生かした拠点づくり

地域のポテンシャルを生かしたまちづくりを進めるため、新たな交流拠点等の整備に着手しつつ、令和7年度にオープンする交流拠点の活用を進めるとともに、拠点のブランド化に向けた取組を進めることで、地域の個性を磨き上げます。

交流・防災拠点の整備

- **第6ブロックへのコミュニティセンターの整備 (新規) 34,639千円** 【内示資料No.36】

生涯学習課/子育て支援課/人権同和施策課

鳴海児童館、文化会館及び地区集会所を集約し、防災拠点としても活用可能な複合機能を有するコミュニティセンターとして整備するため、基本設計に着手

【内示資料No.37】

- **支所・連絡所の照明LED化 (新規) 22,968千円**

支所・連絡所の照明器具について、蛍光灯が令和9年末に生産終了するため、3か年計画で順次LED化

市民自治振興課

主要駅の整備・拠点化

- **紀伊駅前広場の整備 (新規) 40,000千円** 【内示資料No.38】

道路建設課

利用者が安全・安心に利用できるよう、バス、タクシー、一般車に対する乗降所を有した駅前広場を整備し、交通結節点機能の強化を図るため、設計に着手

完成イメージ



本市JR駅の中で、2番目に利用者が多い紀伊駅の安全性を確保

【内示資料No.39】

- **紀ノ川駅のバリアフリー化 (新規) 76,174千円**

紀ノ川駅周辺バリアフリー基本構想に基づき、事業者、国、県、市の4者が協調し、エレベーター設置等のバリアフリー化を行う

交通政策課

- **宮前駅周辺整備の検討 (継続)**

交通政策課/道路政策課

宮前駅や周辺整備について、鉄道事業者等の関係者と検討を進める

地域拠点のブランド化

- **和歌の浦ブランド化プロジェクト (再掲) 20,000千円** 【内示資料No.20】

シティプロモーション課<R7> (企画政策課<R6>)

- **道の駅「四季の郷公園」の観光拠点化 (継続)** 農林水産課

新たな交流拠点の活用促進

生涯学習課

- **西コミュニティセンターの活用 (継続) 57,480千円**

大きなオープンスペースやキッズスペースに加え、屋外との連動性を重視した中庭やテラスが特徴。あらゆる世代が学び、交流できる生涯学習施設として開館

令和7年4月 オープン予定



地域と大学の連携

- **旧中之島保育所を活用したまちづくりの推進 (継続)** 都市再生課

中之島地区連合自治会と宝塚医療大学が連携し、住民が主体となって、地域コミュニティ不足の解消や、地域住民の健康長寿に向けたまちづくりを実施

令和7年度 オープン予定



現況写真

地域公共交通網の維持・充実

公共交通不便地域における代替交通の導入や基幹公共交通軸へのアクセスの維持構築を行い、各拠点をつなぐ公共交通ネットワークを形成するとともに、さらなる利便性の向上等の取組を推進することで、地域公共交通網の維持・充実を図ります。

●バス路線維持への支援（継続）23,591千円 交通政策課

事業者の経営努力だけでは維持することが困難となった4路線（坂田線、六十谷線、鳴神線、雑賀崎循環線）に対して支援を行うことで、路線を維持し、住民や観光客等の移動手段の確保を図る

●地域バスへの支援（継続）37,428千円 交通政策課

バス路線が廃止となった地域などにおいて、鉄道や路線バスと地域とをつなぐ地域バス（4エリア：紀三井寺団地線、有功線、木本・西脇線、川永・紀伊線）の運行を支援し、持続可能な公共交通ネットワークの形成を図る。また、令和7年度は、紀三井寺地域の地域バス車両が老朽化しており、運行事業者での代替が難しいため、地域バス車両の買い替えを行う

●デマンド型乗合タクシーの運行（継続）1,636千円 交通政策課

●和歌山電鐵貴志川線の再構築（継続） 交通政策課

令和6年度に実施した和歌山電鐵貴志川線の再構築に係る調査・分析の結果をもとに、令和8年度以降10年間の再構築実施計画の立案等を行う



公共交通ネットワークの形成により、
まちなか と **地域の拠点** をつなぎ
多極型コンパクトシティの実現へ

文化・スポーツの推進

文化芸術の鑑賞、参加・交流の機会の充実に取り組むほか、文化財の活用に向けた取組を進めるなど、文化の継承と振興を図ります。また、スポーツへの参加を通じた健やかで明るい市民生活の形成を目指すとともに、ニーズを捉えた施設整備等を通じ、スポーツ環境の向上・充実に取り組めます。

文学の魅力発信

文化振興課

● **有吉佐和子記念館の運営（継続）** 9,949千円

● **有吉佐和子文学賞（継続）** 1,871千円

本市出身の作家で偉人・先人の一人である有吉佐和子の作品をはじめとする文学の魅力に触れていただき文化の振興を図るため、文学賞を実施

文化財の保護と活用

文化振興課

【内示資料No.40】

● **国重要文化財郭家住宅の保存活用（新規）** 78,571千円

国重要文化財郭家住宅を後世に継承していくため、土地・建物の公有化を行う



【内示資料No.19】

● **国指定史跡鳴神貝塚の保存活用（再掲）** 22,471千円

国指定史跡鳴神貝塚の史跡整備に向け土地の公有化を行う

● **友ヶ島の文化財調査（継続）** 1,818千円

友ヶ島砲台の文化財としての価値を明らかにするため、調査を継続

● **登録有形文化財の保存促進（継続）** 400千円

スポーツへの参加促進

スポーツ振興課

● **和歌山ジャズマラソンの開催（継続）** 23,447千円

新たなゲストランナーを迎えるなど、更なる大会の魅力向上に努める



● **サイクリングの推進（継続）** 917千円

国際自転車レース「ツール・ド・熊野」と関連した民間主導の新たな大会も



イメージ

スポーツ環境の向上・充実

● **つつじが丘総合公園の整備（継続）**

スポーツ振興課

令和7年9月までに中央公園ゾーンの整備が完了予定



令和6年12月7日にぎわい・スポーツ公園ゾーンがオープン

● **紀の川緑地の整備（再掲）** 9,000千円

【内示資料No.41】

公園緑地課

【内示資料No.42】

● **市民スポーツ広場の拡充（新規）** 48,265千円

スポーツ振興課



● **（仮称）梅原広場の活用検討（継続）**

スポーツ振興課

あらゆる世代がスポーツ・レクリエーションなどで利用でき、災害時にも活用できる多目的広場等の段階的整備を検討

自然と共に生きる環境にやさしいまちの形成

施設の更新が必要な青岸エネルギーセンターは、環境性能と経済性を考慮した、エネルギーの高効率回収と有効利用を促進する新たなごみ処理施設として建替移転を行うための取組を進めます。また、ごみの減量化と資源化、廃棄物の適正処理の維持を図り、環境への負荷を軽減するとともに、水道水等の有機フッ素化合物の検査や大気環境の監視を行い、生活環境を保全することで、豊かな自然と共生する、環境にやさしい社会の実現を目指します。

循環型社会の形成

● 次期ごみ処理施設の整備

青岸清掃センター

(拡充) 45,392千円 【内示資料No.44】

施設の経年劣化が進行している青岸エネルギーセンターを新たに建替移転するため、基本設計及び生活環境影響調査等を行い、安定したごみ処理と脱炭素の取組強化を目指す

● ごみ減量推進事業 (継続) 5,112千円

廃棄物対策課

小学校・幼稚園への環境教育出前講座を実施し、リリクル通信の配信やHPリリクルネットを通じてごみ減量の啓発を実施

● 資源リサイクルの推進 (継続) 56,935千円

廃棄物対策課

家庭から出された資源物のリサイクルを推進

● 不法投棄対策、災害廃棄物に対する備え (継続) 2,539千円

廃棄物対策課

不法投棄の防止と災害廃棄物の迅速かつ適正な処理の仕組みを構築

生活環境の保全

● 水道水等の有機フッ素化合物の検査

(継続) 1,165千円

上・工業用水道管理課/環境政策課

本市の各浄水場の浄水と主な水源である紀の川の原水及び地下水について、有機フッ素化合物 (PFAS) の定期的な検査を実施し、水道水等の安全確保に努める

● 水質汚染の防止 (継続) 6,831千円

環境政策課

水質汚濁防止法に基づく公共用水域の常時監視及び工場排水の規制・指導、生活排水対策、並びに土壌汚染対策を行う事により、水環境の保全に努める

● 紀の川からの導水による大門川の水質改善 (継続)

環境政策課 / 河川港湾課

大門川の水質の改善を図るため、国県市の3者で協力し、紀の川のきれいな水を水量の少ない秋から春に導水。また、抜本的な対策として、紀の川から大門川への直接導水について国と協議を進める

● 大気の常時監視 (継続) 62,267千円

環境政策課

市内の11測定局で二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、光化学オキシダント、浮遊粒子状物質 (SPM) 及び微小粒子状物質 (PM2.5) を常時監視し、大気汚染状況を的確に把握することで大気環境の保全に努める

子供たちが
いきいきと育つまち

子育て世帯を援け支える経済的支援

18歳までのこども医療費の完全無償化と、小学校給食費の無償化を引き続き実施するほか、産前産後期間保険料減額、妊婦支援給付金など、子育て世帯の経済的負担を軽減するための支援を行い、安心して子育てができる環境づくりにつなげます。

経済的支援

● 高校生までのこども医療費無償化 (継続) 1,620,573千円

こども家庭課

18歳（年度末年齢）まで医療費を助成し、安心して子供を産み育てられる子育て環境の充実を図る

給食管理課 (R7) / (保健給食管理課 (R6))

● 小学校給食費の無償化 (継続) 947,746千円

市立小学校及び義務教育学校（前期課程）の給食費を無償化

給食管理課 (R7) / (保健給食管理課 (R6))

● 中学校給食費を支援 (継続) 10,479千円

子育て世帯への経済的支援のため、市立中学校及び義務教育学校（後期課程）の給食費の物価高騰分を支援

● 児童手当 (継続) 6,773,340千円

こども家庭課

令和6年10月分より対象年齢を高校生年代まで延長し、所得制限を撤廃。第3子以降は月額15,000円から30,000円に増額。支給回数を年3回から年6回に増加

● 就学援助の充実 (継続) 176,947千円

学校支援課

国保年金課

● 産前産後期間の保険料減額 (継続) 3,507千円

出産する被保険者の国民健康保険料(所得割保険料及び被保険者均等割保険料)について、産前産後期間相当分(4か月間(多胎妊娠の場合は6か月間))を減額

● 出産育児一時金 (継続) 104,844千円

国保年金課

国民健康保険の被保険者が出産された際、一児につき48.8万円(産科医療補償加入登録有りの場合50万円)を支給

● 妊婦支援給付金 (継続) 210,509千円

地域保健課

全ての妊婦が安心して出産・子育てができるよう、妊娠届出後と出生届出後に給付金を支給
旧) 出産・子育て応援給付金

保育こども園課

● 一時預かり利用者の負担軽減 (継続) 1,241千円

所得の低い世帯や支援が必要な児童がいる世帯等の一時預かりに関する利用料を軽減（上限額 日額1,500円～3,000円）

切れ目のない支援網の充実

妊娠期から子育て期まで包括的な切れ目のない支援を充実させ、妊婦等の身体的、精神的ケア及び経済的支援を実施し、誰もが安心して子育てができる支援を行います。

妊産婦等へのきめ細かな支援

地域保健課

● 妊産婦健康診査費用の助成（継続）229,506千円

妊産婦の健康管理の充実、経済的負担の軽減を図る

【内示資料No.45】

● 新生児聴覚検査費用の助成（新規）12,338千円

全ての新生児が出生後ただちに聴覚検査を受検し、早期療育が図られる体制づくりの整備を目指し、おおむね生後3日以内に実施する新生児聴覚検査に要する費用を助成

【内示資料No.46】

● 産後ケアサービスの提供（拡充）5,835千円

現在実施している産科医療機関等での宿泊や通所（デイサービス）に加え、令和7年度より助産師等による訪問（アウトリーチ）を実施し、母子ケアや授乳指導・育児相談等きめ細かな支援を実施

新たにアウトリーチ型の産後ケアを実施



● こんにちは赤ちゃん事業（継続）14,138千円

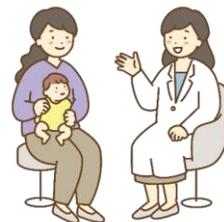
訪問員（保健師、助産師、看護師、保育士）が自宅に伺い、子育て情報の提供や育児や産後の生活などの相談実施

● 乳幼児発達相談事業（継続）9,948千円

● 1か月児健康診査費用の助成（新規）14,887千円

【内示資料No.47】

1か月児の発育、発達を把握し、先天性の病気等の有無など乳児の健康保持と増進を図り、育児相談を実施するとともに、経済的負担の軽減を図る



● 乳幼児の健康診査の実施（継続）28,712千円

4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児に健康診査を実施

【内示資料No.48】

● 2歳6か月児歯科健診フッ素塗布の開始（拡充）2,605千円

2歳6か月児の歯科健診から1年後の3歳児健診（3歳6か月児対象）の間に、フッ素塗布を実施し、むし歯罹患率の減少を図る

● 5歳児相談事業（継続）6,904千円

市内の幼稚園、保育所、認定こども園等に通う年長児を対象に、各園を巡回訪問して子供の行動観察を行い、必要に応じて個別の発達相談を実施し、発達障害の早期発見と円滑な就学につなげる

若い世代のライフデザインを支援

出会いの機会の提供から子育て世帯への相談まで、ライフステージを通じた子育て支援を届け、結婚や出産の希望が叶えられ、子育てを楽しむことができるまちを目指します。

▶ ライフステージを通じた子育て支援

子育て支援課

● わかやまKoiむすび（継続）2,716千円

結婚を希望しているが、出会いの機会が少ない方にお見合い型とイベント型の出会いの機会を提供



● 新生活をスタートさせる新婚世帯の支援（継続）45,000千円

結婚に伴う新生活にかかる費用の一部を補助し、結婚を後押し

● こども未来ギフト（拡充）13,784千円【内示資料No.49】

本市で誕生した子供たちの健やかな成長を願い、食育、読育、眠育、木育に関するお祝いギフトを贈呈



令和6年度ギフト

● 親子の交流の場の提供（継続）78,261千円

未就園児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う

● 子育てプランナーによる支援（継続）8,602千円

▶ 子育てを楽しく、スマートに

● 子育て支援アプリの導入【内示資料No.50】

（新規）1,735千円 子育て支援課

子育て家庭に対し必要な情報を届けるため、市の子育て情報、イベント情報の配信や子育て関連施設情報を提供する子育て支援アプリを導入

● 一時預かり利用予約システムの導入【内示資料No.51】

（新規）499千円 保育こども園課

利用予約システムを導入し、オンラインでの申請手続きを可能とすることで、利用者の利便性の向上を図る

子育てDXの推進により
より楽しく、スマートな子育て環境を整備



多様なライフスタイルに合わせた支援の強化

潜在保育士への復職支援による人材確保や、病児保育の受け皿の増加に向けた支援などを通じ、待機児童の解消を目指すとともに、こども誰でも通園制度の試行や、市立幼稚園の木曜日給食の導入により、多様な働き方やライフスタイルに合わせた支援を強化します。

ライフスタイルにかかわらない形での支援

● こども誰でも通園制度の試行

(新規) 20,075千円 【内示資料No.52】

保育こども園課

子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、就労要件を問わず利用できるこども誰でも通園制度を試行



● 市立幼稚園の木曜日給食実施

(新規) 2,501千円 【内示資料No.53】

給食管理課 (R7)
(保健給食管理課 (R6))
/ 教育政策課

共働き世帯の増加や働き方が多様化している中、より保護者のニーズに沿った園運営を行うため、木曜日の給食を実施



保育環境の強化

【内示資料No.54】

● 保育士等就労支援補助 (新規) 3,600千円

保育こども園課

潜在保育士への就職時の一時金支給 (市外から移住する場合加算あり) を行い、保育士確保を図る

● 医療機関併設型病児保育の推進

(拡充) 13,872千円 【内示資料No.55】

保育こども園課

病児保育施設を新たに1施設開設し、病児保育事業の受け皿を増やすことで、年々増加している利用者の保育需要に対応

● 障がい児受入れ促進 (継続) 53,802千円

保育こども園課

特別な支援が必要な児童を受け入れ、保育士を加配する保育所及び認定こども園に対して、その経費の一部を補助

● 民間認定こども園への整備補助

(継続) 404,180千円

子育て支援課

若竹学級の充実

青少年課

● 若竹学級待機児童ゼロへの取組

(継続) 543,964千円

放課後等に保育を必要とする児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供

特別教室等の「タイムシェア」で継続的な待機児童ゼロを目指す

妊産婦・子育て世帯・子供への相談支援

こども家庭センターにおいて、児童福祉と母子保健を一体的に実施し、すべての妊産婦、子育て世帯、子供に対して、必要な支援につなぐ相談支援の推進に取り組みます。

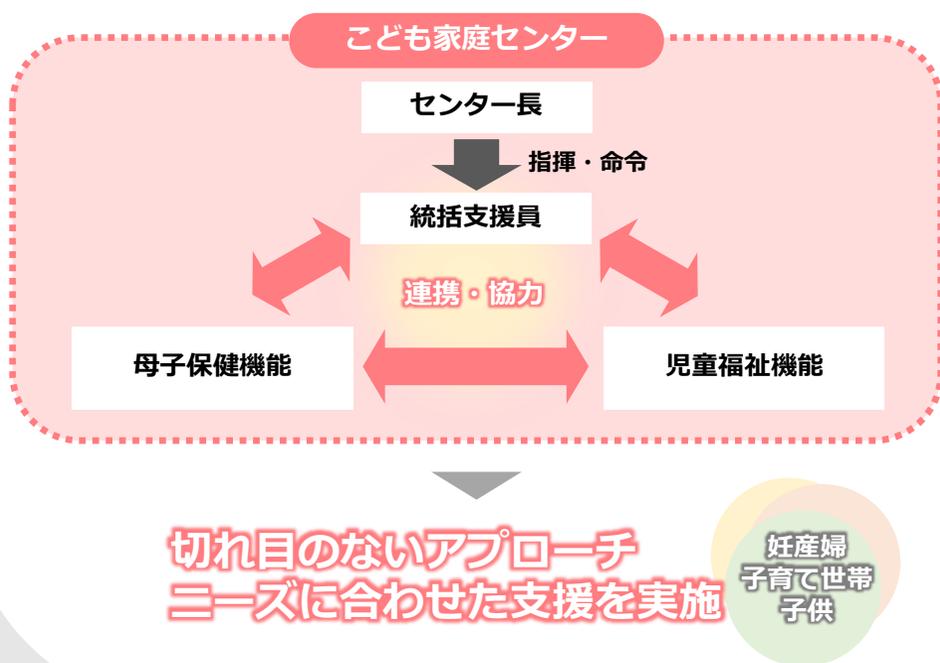
児童福祉と母子保健の一体的支援

こども家庭センター/地域保健課

● こども家庭センターでの一体的支援

(継続) 262,317千円

全ての妊産婦・子育て世帯・子供に対し、ワンストップで相談支援を行い、児童福祉と母子保健がそれぞれの専門性に応じた業務を実施しながら連携・協力し、一体的で切れ目のない支援に



児童福祉機能 (継続) 214,100千円

- 要保護児童対策地域協議会 (相談業務・他機関との連絡調整)
- 母子生活支援事業
- 助産施設事業
- 子育て短期支援事業
- 前向き子育てプログラム推進事業
- 里親事業
- 就学前児童への啓発プログラム
- 子育て支援訪問事業
- ヤングケアラー事業 (拡充)
- 小児精神科医アドバイザー事業
- 地域等子育て相談業務
- 養育支援訪問事業

母子保健機能 (継続) 48,217千円

- 妊娠届出の受理・母子手帳の交付
- 妊産婦、乳幼児等の実情及び要支援者の把握・関係機関との連絡調整
- 妊産婦や乳幼児、育児相談等各種相談に応じ、情報提供・助言・保健指導の実施

誰一人取り残すことのない学びの場の提供

和歌山市立和歌山あけぼの中学校での学習支援により、誰一人取り残さない教育、生徒の多様性を尊重した教育を推進します。また、医療的ケア児やヤングケアラーへの支援を強化するとともに、外国人生徒へのサポートを推進することで、誰一人取り残すことのない学びの場を確保します。

誰一人取り残すことのない支援体制

学校支援課

● 特別支援教育支援員によるサポートの充実

(継続) 226,290千円

小・中学校及び義務教育学校に特別支援教育支援員を配置。発達障害等を持つ幼児児童生徒に対し、早い段階からきめ細かい支援を実施

● 医療的ケア児とその家族への支援の強化

(継続) 19,905千円

保育こども園課/学校支援課/障害者支援課

医療的ケアが必要な子供が、市立学校・保育所等において安心して教育・保育が受けられるよう看護師等を派遣し、支援体制を強化
また、コーディネーターを配置し、多機関にまたがる支援の調整を行う

● ヤングケアラーへの支援 【内示資料No.56】

(拡充) 8,821千円

こども家庭センター

コーディネーターの配置により、ヤングケアラーの早期発見、継続的な見守りや相談支援等、孤立させない支援体制を構築

外国人児童生徒へのサポート推進

学校支援課 (子ども支援センター)

● 日本語支援ボランティアの配置 (継続) 1,827千円

● 外国人留学生の派遣 (継続) 84千円

学校支援課

誰もが学ぶことができる機会の保障

● 和歌山市立和歌山あけぼの中学校

教育政策課
学校支援課

(夜間中学) の開校 (拡充) 7,176千円 【内示資料No.31】

- ・ 誰一人取り残さない教育
- ・ 生徒の多様性に合わせた教育
- ・ 市立和歌山高等学校定時制との連携



令和7年4月開校

子供の居場所づくり

学校支援課 (子ども支援センター)

● 校内教育支援センター (SSR) (継続) 570千円

市立全中学校及び義務教育学校SSRにおいて、ICT環境活用等によるニーズに沿った学習支援や担当者連絡協議会の実施により、未然防止を含む不登校支援を実施

● 適応指導教室 (ふれあい教室) の取り組み

(継続) 26,413千円

学校支援課 (子ども支援センター)

さまざまな理由で学校に行きづらい子供が、安心して過ごすことのできる「心の居場所」として、子ども支援センターにふれあい教室を設置

● 新たな居場所づくりに関する検討 (継続)

子育て支援課

養育環境等に課題を抱える児童、家庭や学校に居場所のない児童等の居場所となる場を検討

個別最適・協働的な学びを支える学習環境の充実

GIGAスクール構想の着実な推進や、専門的な知識を持った学校司書による学校図書館の利用促進により個別最適な学びと協働的な学びを支え、多様な分野で活躍できる人材を育む教育を充実します。

ICTを活用した学習活動

● GIGAスクール構想の着実な推進 (継続) 31,602千円

学校教育課 / 教育研究所



- ・教育のハイブリッド化
- ・デジタル教科書、教材の活用
- ・1人1台端末の利活用

ICTを活用して学校と保護者をつなぐ

[内示資料No.57]

教育研究所

● 保護者連絡ツールの導入 (新規) 2,535千円

保護者からの児童・生徒の欠席連絡、教育委員会からの一斉連絡が実装されたアプリを導入

学校と保護者の連絡を
容易かつ確実なものに



読書環境の充実

読書活動推進課

● 学校司書配置による学校図書館の利用促進 (拡充) 27,318千円

[内示資料No.58]

専門的な知識を持った学校司書を配置し、本を活用した授業サポートや児童・生徒への読書案内等、学校図書館を活用した教育活動の支援等を行う



● 市民図書館を拠点とする読書活動の推進 (継続) 372,954千円

読み聞かせの実施や子供に薦めたい本の紹介、小学校への配本図書 の充実、各コミュニティセンター図書室とのネットワーク充実など、市民図書館を拠点とした読書活動を推進

学校水泳授業の機会を確保

学校教育課

[内示資料No.59]

● 民間・公設プールを活用した学校水泳授業 (新規) 6,282千円

市立小・中・義務教育学校において、プールがない学校又は故障しているが自校のプールの修繕を行わない学校では、民間もしくは公設プールを利用し、水泳授業の機会を確保



健やかな体を育む学校給食・食育の充実

栄養バランスに配慮した学校給食を安定的に提供するとともに、中規模校において提供していたオーガニック給食を市内の全小学校に提供することで、給食を通じて健やかに成長し、食に関する正しい理解や適切な判断力を養います。

学校給食・食育の充実

給食管理課 (R7) / (保健給食管理課 (R6))

【内示資料No.60】

- **中学校全員給食の推進（拡充）** 3,866,746千円 **2月補正**
76,611千円



令和8年度の給食センター
運営開始と同時に
無償化を実施予定

給食センター完成予想図
(出典：事業者提案書)

- **小学校給食費の無償化（再掲）** 947,746千円
市立小学校及び義務教育学校（前期課程）の給食費を無償化

- **中学校給食費を支援（再掲）** 10,479千円
エネルギー・食料品価格等の物価が依然として高騰している状況を踏まえ、子育て世帯への経済的支援のため、市立中学校及び義務教育学校（後期課程）の給食費の物価高騰分を支援

【内示資料No.7】

- **オーガニック給食の推進（再掲）** 2,228千円
全市立小学校・義務教育学校（前期課程）において有機食材や有機米を使用したオーガニック給食を実施

学校給食を通じ子供の食生活や
食文化に理解を深めるとともに
有機食材の活用に取り組む



安全・安心な教育環境の充実

校舎の長寿命化や屋内運動場の空調設備の設置等により、安全・安心な教育環境の確保と防災機能強化の一体的な整備を進めるとともに、老朽化した学校夜間照明の集約更新を行い、学校開放時の効率的な夜間利用を推進します。

学習環境の改善

● 屋内運動場冷暖房設備の整備 教育施設課

- 小学校屋内運動場の空調整備（新規）321,926千円 2月補正
- 中学校屋内運動場の空調整備（拡充）212,354千円 2月補正



中学校全校の整備を完了させ、新たに小学校屋内運動場の空調整備に着手
児童生徒等の熱中症対策と災害に対する防災機能強化
※小学校5校、中学校3校

● 特別教室、給食室等の空調更新（継続）192,627千円 2月補正

※小学校4校、中学校5校

教育施設課
給食管理課 (R7)
(保健給食管理課 (R6))

● LED照明設置（継続）168,281千円 2月補正

※小学校7校、中学校1校

教育施設課

● トイレの洋式化（継続）848,140千円 2月補正

※小学校6校、中学校3校

教育施設課

全小・中学校の第1系統（各階1か所）に洋式トイレの設置が完了
第2系統について、R7で対象59校中49校の整備が完了予定

● 市立和歌山高等学校屋内運動場の空調整備及び照明LED化（拡充）136,461千円 市立和歌山高等学校

屋内運動場の空調整備と照明のLED化を行うことで、生徒等の熱中症対策及び災害に対する防災機能強化を図る

学校施設の安全性確保

教育施設課

● 学校施設の改修

- 学校施設の外壁改修（継続）227,306千円 2月補正
学校施設の外壁改修工事を実施することで、児童生徒等の安全を確保
※小学校5校
- 校舎の予防改修（継続）600,741千円 2月補正
築30年以上の古い建物の長寿命化を図るため、屋上の防水改修や外壁改修等の予防的な外部改修工事を行う
※R7は小学校2校、中学校2校、幼稚園3園で実施



学校夜間利用の充実

【内示資料No.62】 生涯学習課

● 学校夜間照明施設の更新（拡充）87,307千円

老朽化した学校夜間照明設備について、今後の効率的な活用を進めるため、集約更新を行い、市民の有効な利用と学校の安全性の向上に努める

体験を通じて「豊かな心と郷土愛」を育む教育

世界各地の英知に触れる機会である大阪・関西万博への参加を支援します。また、子供たちが自ら地域の良さを発見できるよう、加太及び雑賀崎における地域性を生かした一貫教育を推進するとともに、地域クラブ活動の整備に向けた取り組みを推進し、多様な体験機会を確保します。

国際文化を学ぶ貴重な体験

学校教育課

● 大阪・関西万博への教育旅行参加支援

(新規) 69,279千円【内示資料No.63】

多様な観点から、子供たちが未来社会を主体的に考え、世界各地の英知に触れる絶好の機会である大阪・関西万博に市立小・中・義務教育学校の児童・生徒が積極的に参加することを支援



提供：2025年日本国際博覧会協会

● リッチモンド市との国際交流

(新規) 2,383千円【内示資料No.64】

市立中学生・高校生が姉妹都市であるカナダ・リッチモンド市へのホームステイや学校訪問を通して、現地の同世代の学生との交流、さまざまな人々の出会いにより、国際理解と親善を深める



郷土を愛するふるさと教育

教育政策課/学校支援課/学校教育課/教育研究所

● 地域性を生かした特色ある一貫教育（継続）

加太及び雑賀崎において、学びの連続性を重視した一貫教育を実施し、地域の人や自然、文化に触れあう体験を通じて、豊かな心とふるさとへの愛着を育む

● 市立中学生の職業体験事業

学校教育課

(拡充) 400千円【内示資料No.65】

市立中学校・義務教育学校（後期課程）におけるキャリア教育のため、地元企業などによる職業体験の提供を支援することで、郷土を愛する生徒を育む



部活動における多様な体験機会の確保

学校支援課

● 学校部活動の地域連携・地域展開

【内示資料No.66】

(拡充) 1,284千円

市立中学校・義務教育学校（後期課程）の学校部活動の地域連携・地域展開に向けた実証事業及び推進協議会を実施し、地域スポーツクラブと学校部活動との連携を図り、部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創造を目指す



誰もが安心して
暮らせる優しいまち

物価高騰に対する支援

市民の暮らしに大きな影響を与えている物価高騰に対して、特に負担が大きい低所得者世帯に国による給付金支援を迅速に行うとともに、市民の生活を支え、市内経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行します。また、省エネ家電への買い替えに対する支援も行い、経済対策と同時に温室効果ガス排出量の削減にもつながる取組を進めます。

家計への支援

● プレミアム付商品券の発行 商工振興課

(新規) 569,444千円 【内示資料No.67】

物価高騰等の影響を受けた生活者や事業者への支援を目的としてプレミアム付商品券を発行することで、市内での消費喚起を図り、地域経済の回復につなげる

1回6,500円を5,000円で販売 (プレミアム率30%)

デジタル商品券と紙の商品券の両方を販売

● 省エネ家電への買い替え支援 (新規) 103,095千円

【内示資料No.68】 環境政策課

市民生活における光熱水費の負担を軽減し、脱炭素化への取組に対する関心を高めるとともに、温室効果ガス排出量の削減を図るため、省エネ性能に優れた家電への買い替えを補助

対象製品：省エネ性能に優れた家庭用のエアコン及び冷蔵庫

最大5万円補助



事業者への支援

保育こども園課

● 私立保育所等への支援 (新規) 52,619千円 【内示資料No.69】

物価高騰に直面する私立保育所等の負担を軽減し、物価高騰の影響を保護者に転嫁することなく現在の保育や給食水準を維持するため、私立保育所等に対して光熱水費及び食材料費の物価高騰相当分を補助

低所得者への支援

【内示資料No.70】 生活支援第2課

● 低所得者支援給付金 (新規) 1,823,864千円 2月補正

物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり3万円（子供1人当たり2万円加算）を給付

● 定額減税補足給付金の不足額を給付

(新規) 1,532,438千円 【内示資料No.71】 高齢者・地域福祉課

令和6年分所得税及び定額減税の実績額等の確定により、令和6年度実施の定額減税補足給付金の額に不足のあることが判明した方に対し、追加で不足額を給付

住宅の耐震化の促進

近い将来高い確率で起こると予想されている南海トラフ地震に関する臨時情報が初めて発表されたこともあり、耐震改修費用の補助額を引き上げることで、住まいの耐震化を促進し、生存空間の確保を後押しします。

● **住宅の耐震診断（継続）** 17,419千円

● **住宅の耐震化（拡充）** 116,600千円 2月補正
 186,600千円 【内示資料No.72】

耐震・空家対策課〈R7〉
 （住宅政策課〈R6〉）

● **移住者空き家改修等補助金（継続）** 3,000千円

県外からの移住者が空き家バンクに登録している市内の空き家を
 購入し、その家に定住する場合、改修費用等の一部を補助

耐震・空家対策課〈R7〉
 （空家対策課〈R6〉）

**耐震改修費用の一部補助により
 住宅の耐震化を促進し、
 生存空間の確保を後押し**



STEP1 耐震 診断	木造住宅 無料で耐震診断士を派遣
	非木造住宅 耐震診断費を助成（最大8万9千円）
STEP2 耐震化	木造・非木造住宅 耐震改修（最大131万6千円） 1階部分のみの改修も対象
	木造・非木造住宅 現地建替（最大131万6千円） 1件当たりの上限額を 15万円引き上げ
+	耐震改修と同時に行う リフォーム工事費の助成 （最大20万円） H12以前に着工された住宅まで拡大 1件当たりの上限額を10万円引き上げ
or	移住者空き家改修等補助金（最大50万円） ※耐震改修と併用可

※各種助成には、一定の条件あり

- 耐震改修とリフォームを併せて最大**151.6万円**を助成
- 耐震改修と移住者空き家改修等補助金を併せれば最大**181.6万円**

浸水害に対する備え

内水氾濫による浸水リスク情報を掲載した内水ハザードマップを作成し、いざというときに命を守る行動がとれる準備を進めるとともに、浸水被害を軽減するため、雨水ポンプ場のポンプ整備などを進めます。また、外水氾濫を防ぐために河川整備を進めるなど、治水対策を推進します。

ポンプ場整備による浸水対策

● 松江雨水ポンプ場及び幹線管渠の整備

(継続) 1,049,371千円

松江雨水ポンプ場を新設し、幹線管渠を整備することにより、浸水軽減を図る

下水道企画建設課/下水道施設課

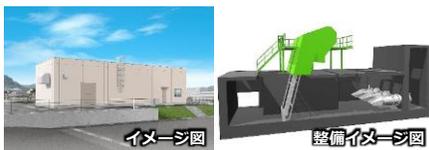


完成イメージ図

● 中島川雨水ポンプ場の整備

(継続) 20,000千円

中島川雨水ポンプ場を新設することにより、浸水被害の軽減を図る



下水道施設課

下水道施設課

● 有功雨水ポンプ場ポンプ増設 (継続) 211,900千円

有功雨水ポンプ場のポンプを増設することにより、浸水被害の軽減を図る

農地防災

耕地課

● 国営総合農地防災事業の促進 (継続) 229千円

国が事業主体となり県・市・土地改良区の連携のもと、和歌山平野地区での豪雨等による農地等被害軽減のため、農業用排水路や排水機等の整備を実施

河川の氾濫を防ぐ対策

河川港湾課

● 流域治水の推進 (継続)

河川の流域全体のあらゆる関係者(国・県・市・企業・住民)が協働して流域全体で維持可能な治水対策を推進

● 紀の川の治水対策の推進 (継続)

新六箇井堰の切り欠きの確実な実施、事業実施後の効果検証などについて、国に働きかける

● 災害に強い河川整備の推進

- ・ 準用河川の改修 (継続) 110,250千円
- ・ 普通河川整備 (継続) 127,700千円

河川の氾濫から身を守る取組

下水道企画建設課 【内示資料No.73】

● 内水ハザードマップ作成 (拡充) 21,474千円

想定し得る最大規模の降雨に対応した内水ハザードマップを作成

● 小規模河川の洪水ハザードマップ作成 【内示資料No.74】

(拡充) 16,310千円 河川港湾課

洪水予報河川や水位周知河川に指定されていない小規模河川における洪水浸水想定区域の洪水ハザードマップを作成

耕地課

● ため池ハザードマップの作成 (継続) 30,501千円

災害対応力の強化

地震等の災害発生時に迅速な対応ができるよう、防災ラジオの貸与や、安否確認の布を全世帯に配布するなど市民自ら命を守る行動がとれるよう取組を進めます。また、ドローンによる被害状況の把握、地震や大雨によって道路が寸断され、孤立集落が発生したときでも、対応できるよう緊急物資輸送計画の策定に取り組むとともに、ドローン操縦士の資格取得と操作技術の向上に努め、災害から一人の命も取り残さないよう備えます。

情報伝達の強化

● 防災ラジオの貸与（継続）11,062千円

防災情報を屋内でも迅速に受信できるよう、高齢者世帯等に防災ラジオを無償貸与

最大 1,000 台貸与

地域安全課



迅速な救助につながる取組

● 安否確認の布を全世帯に配布（新規）7,886千円

災害発生時に、世帯全員の安全が確認できたときに玄関に掲げる黄色い布を全世帯に配布

黄色い布を掲げていない家を探し出し
負傷者等を迅速に救助



地域安全課 【内示資料No.75】

危険な空き家を無くす取組

耐震・空家対策課〈R7〉（空家対策課〈R6〉） 【内示資料No.76】

● 空き家カンファレンスの開催（新規）400千円

空き家の専門家である空家等管理活用支援法人と連携し、解決困難な空き家を流通へと導くことを目的とした相談の場を設け、問題解決への出口を見出し、危険家屋等の減少及び特定空家化を未然に防ぐ

ドローンを活用した災害対応

● 孤立集落に対する緊急物資輸送計画の策定（新規）2,283千円 【内示資料No.78】 総合防災課

災害初期における孤立集落に対する食料や薬などのドローンによる物資輸送体制の構築を図るため、計画を策定

総合防災課/人事課

● ドローン操縦士の育成（新規）2,514千円 【内示資料No.77】

被害情報の早期把握等を迅速かつ円滑に実施、また、ため池や河川、道路等を現地調査するため、ドローン操縦士の資格取得を推進するとともに、研修を受講しドローン技術の向上を図る

災害対応体制の強化

総合防災課

● 災害対策本部の機能強化（新規）63,543千円

迅速な避難情報の発令や効果的な情報発信を図るため、【内示資料No.79】大型モニターを更新し、本部体制の強化を図る

災害からの早期復旧・復興

地籍調査課

● 地籍調査事業の推進（拡充）90,295千円 2月補正 338,302千円 【内示資料No.80】

土地境界を明確化することで、災害対策に必要なインフラの整備を円滑化するとともに、災害からの復旧・復興に必要な事業への迅速な着手を可能とする地籍調査を実施

津波浸水想定区域など

14か所に調査面積を拡大

安心で安全な水道水の安定供給

安心・安全な水道水を将来にわたって安定して供給し続けるため、老朽化の進む水道管路の更新や水道施設の耐震化を進めるとともに、衛星画像解析による漏水調査を実施し、道路陥没などの事故の未然防止と効率的な事業運営に努めます。また、送水管の複線化や浄水場建設計画を推進するなど、巨大地震を含めた自然災害に備えます。

老朽化の進む管路の更新

● 配水管の整備（拡充）3,614,566千円 管路整備課

老朽化した配水管の更新を進め耐震化を図るとともに、各水系間を結ぶ相互連絡管を整備

【内示資料No.81】



令和6年度に比べ
更新する管延長を拡大

● 衛星画像解析に基づく漏水検知業務 維持管理課 (新規) 61,314千円

人工衛星で撮影した画像を基に漏水の疑い箇所の解析を実施

【内示資料No.82】



人工衛星画像とAIによる
漏水調査を取り入れることで
市内全域の調査が可能に

老朽化の進む施設の更新

水道企画課

● 加納浄水場の老朽化対策・耐震化 (継続) 1,378,355千円

- No.2 取水施設耐震補強工事 工事期間：令和7年度から令和8年度
- ろ過池混和池築造工事 工事期間：令和4年度から令和8年度
- ろ過池機械設備工事 工事期間：令和7年度から令和11年度

● 耐震診断の実施（新規）35,530千円 【内示資料No.83】

配水池の耐震診断を実施 委託期間：令和7年度から令和10年度

リダンダンシーの確保

水道企画課

● 紀の川横断部の送水管複線化（継続）192,500千円

工事期間：令和7年度から令和9年度

● 北部浄水場の建設計画の推進（継続）

事業期間：令和10年度から令和20年度（予定）



● 六十谷浄水場（工業用水道）再構築にかかる 基本設計（継続）40,810千円

老朽化施設の耐震化を含めた更新及び統廃合に向けた基本設計を実施
委託期間：令和6年度から令和8年度

生活環境の向上・充実

災害に強い高台エリアの道路整備や広場の活用検討を進め、リダンダンシーの確保に努めます。また、消防車や救急車等が通行できるよう緊急避難道路の整備を進めるとともに、地域に住む人が安全に、円滑に移動できるよう生活道路の維持修繕を推進します。

災害に強い高台エリアの取組

● 北部丘陵地の取組

- ・ 道路（東西ルート）に係る地籍調査
（継続）35,094千円 地籍調査課
- ・ (仮称) 梅原広場アクセス道路等の整備
（継続）71,000千円 2月補正 道路建設課/河川港湾課
275,000千円
- ・ (仮称) 梅原広場の活用検討（再掲） スポーツ振興課



暮らしに紐づく道路の整備

道路建設課/道路管理課

● 生活関連道路の保全（拡充）1,358,445千円 【内示資料No.84】

災害の発生を未然に防ぎ、安全で快適な道路環境を確保するための舗装修繕等の実施を大幅に拡充し、併せて交通事故を未然に防止するための交通安全施設の新設、補修等を実施



重点化のため予算を昨年度比
約2億円 拡充（約17%増）

● 緊急避難路の整備（継続）59,000千円 道路管理課

災害時における緊急車両等の通行を円滑にするため、側溝や水路を暗渠化して道路幅員を拡幅

建築指導課

● 狭あい道路の拡幅整備を促進（継続）1,200千円

居住環境の向上を図るため、狭あい道路（建築基準法第42条第2項に規定する道路）の拡幅後退部分の舗装整備に係る費用を補助

買い物困難地域の解消

● 企業立地促進奨励金制度（再掲） 産業政策課

令和7年度より買い物困難地域に立地するスーパーマーケットを対象に追加

人生100年時代に向けた健康づくり

少しでも長く健康で自立した生活を送れるよう、また、健康な状態から要介護に移行しないために、フレイル予防、介護予防に資する取組を進めます。また、带状疱疹予防接種を定期予防接種として実施するなど、高齢者の予防接種を推進します。

介護予防・フレイル予防

保険総務課

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (継続) 20,255千円

健康状態不明者の実態を把握し、適宜健診や医療、介護サービスにつなげ、疾病予防・重症化予防・介護予防を図る
通いの場等において、口腔に関する健康教育・健康相談を実施し、生活習慣の改善や健康の保持増進を図る

地域包括支援課

●自主グループの立ち上げ・活動継続の支援 (継続) 7,742千円

- ・WAKAYAMAつれもて健康体操
- ・わかやまシニアエクササイズ

加齢に伴う心身機能の低下等によるフレイル(虚弱)予防のため、自主的な体操を実施するグループの立ち上げや活動継続を支援し、住民主体の通いの場の充実に努める



疾病対策の推進

地域保健課

●がん対策の推進(継続) 225,007千円

がんの死亡率を減少させるために、がん検診の受診率向上施策を充実させ、がんの早期発見を図る

保健対策課【内示資料No.88】

●带状疱疹定期予防接種の実施(新規) 138,647千円

带状疱疹の発症及び重症化を予防するため、定期予防接種を実施

対象年齢を65歳以上の
※5歳刻みに位置付け

※5年間の経過措置



保健対策課

●高齢者等のインフルエンザ予防接種の推進 (継続) 215,504千円

個人の発病、重症化を予防し、併せてそのまん延予防を目的として実施

国保年金課

●特定健康診査の実施(継続) 269,083千円

生活習慣病の発症及び重症化を予防するために、特定健診の普及啓発に努めるとともに、健診の受診勧奨を行い、受診率向上を図る

高齢者・障害者の生活安心サポート

様々な生活支援サービスを提供することで、高齢者や障害者の外出機会を増やし、社会参加を促します。また、必要なサポートを届け、自立して安全・安心に暮らすことができる環境を整えます。

生涯安心して暮らせる社会づくり

● 高齢者に対する外出支援

高齢者・地域福祉課

● 元気70パス（継続）108,494千円

70歳以上の高齢者に、市内路線バスを1回100円で乗車できるバスカード、もしくは、市営5か所で割引になる駐車場利用券のいずれかと公衆浴場利用回数券を交付

● 和歌山電鐵貴志川線70おでかけ回数券（拡充）3,817千円【内示資料No.91】

70歳以上の高齢者に利用区間に関係なく利用できる10枚綴りの回数券を1,000円で販売



有効期間を最大6か月に延長して使いやすく

● ひとり暮らし高齢者の見守りシステム（継続）23,996千円

高齢者・地域福祉課

ペンダント型送信器や人感センサーにより、非常時に警備会社の職員が駆け付けられる体制を構築

【内示資料No.92】 収集センター

● 家庭ごみのふれあい収集の推進（拡充）595千円

集積場所までのごみ出しが困難な方の家庭ごみを住宅の出入口の前等で収集する「ふれあい収集」を実施

対象者を65歳以上
かつ要介護度2以上に拡大



障害者を支える環境づくり

障害者支援課／保健対策課

● 障害児者の外出支援（継続）34,314千円

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方に、バスカードまたは公衆浴場回数券、福祉タクシー利用券（対象者のみ）を配布することで外出を支援

障害者支援課

● 重度障害者等への就労支援（継続）1,883千円

視覚障害者や重度障害者が企業等で働くために必要な支援（通勤時の支援、職場での身体介護など）にかかる費用を補助

障害者支援課

● 就労移行支援利用者交通費助成（継続）510千円

就労移行支援事業所に通所する障害者に対して、通所の際に係る交通費の一部を助成

【内示資料No.93】 障害者支援課

● 基幹相談支援センターの推進（拡充）67,448千円

地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを増設することで、障害福祉における相談支援体制の充実を図る

オール和歌山市でつくるゼロカーボンシティ

2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現に向けて、これまでの家庭や事業所における再生可能エネルギーの導入、活用を促進する取組に加え、中小企業の脱炭素経営を後押しするための支援を追加し、市民・事業者・行政の「オール和歌山市」で地域の温暖化対策に取り組みます。

中小企業の脱炭素支援

環境政策課

【内示資料No.96】

● 中小企業の脱炭素経営の促進（再掲）33,000千円

温暖化対策に加え、企業の成長力強化にもつながる脱炭素経営を支援

地球温暖化対策基金を活用

支援メニュー① 省エネ診断

国の制度等を活用した省エネ診断費用
の実費負担分を助成（上限5万円）



支援メニュー② 省エネ化

省エネ診断の改善提案に基づく省エネ化
に対する費用を助成（上限50万円）



支援メニュー③ 照明LED化

照明LED化に対する費用を助成
（上限50万円）



再生可能エネルギーの活用等による脱炭素推進

環境政策課

● 太陽光発電設備等の導入

・ 市民・事業者への支援（継続）73,700千円

太陽光発電設備や家庭用蓄電池、エネファームの導入支援

・ 公共施設への設備の導入（継続）18,288千円

PPA制度を活用し、公共施設
に対し、災害対応力の強化に
もつなげる太陽光発電設備・
蓄電池を導入



● EV（電気自動車）の導入促進

・ 住民向けEV導入支援（継続）9,000千円

再生可能エネルギーを導入する個人宅を対象に、国のCEV補助金
に15万円上乗せ補助し、EV及びFCEV（燃料電池自動車）導入を
支援

・ 民間事業者と連携した公共施設への EV充電設備の導入（継続）



スマートシティの推進

本市の諸課題の解決や新たな価値創出のための先端技術等を活用した取組への支援を充実させるなど、スマートシティの実現に向け取り組むことで、将来世代に至るまで、より良いサービスや質の高い生活の提供に努め、市民のウェルビーイングの獲得を目指します。

共創によるスマートシティの実現

デジタル推進課〈R7〉
(企画政策課〈R6〉)

●スマートシティ推進プラットフォーム を通じたまちのスマート化（継続）1,682千円

スマートシティ推進プラットフォームを通じて多様なステークホルダーと積極的に連携し先端技術等の導入の検討を進めるとともに、実証実験の取組を支援し、スマートシティの実現を目指す

各分科会を通じて様々なスマート化の取組を推進



スマートシティの実現に向けた取組により
市民の「心ゆたかな暮らし」（Well-Being）の獲得へ

暮らしのスマート化の推進

●粗大ごみの戸別収集申込みのオンライン化 （新規）4,654千円 【内示資料No.100】 収集センター

スマートフォン等で24時間粗大ごみの戸別収集を申込みできるシステムを構築し、利便性向上を図る

●子育て支援アプリの導入（再掲）1,735千円 【内示資料No.50】 子育て支援課

●デジタルデバイド対策（継続）51千円 デジタル推進課

デジタル技術の利用方法が分からない、またその習得機会が無い方を対象に、スマートフォンの操作やスマートフォンによる行政手続・サービスの利用方法等に関する講座を開催

事業者のDX促進

産業政策課

●デジタルツールの導入支援（再掲）3,023千円

●デジタル人材の育成（再掲）6,982千円

令和7年度当初予算の概要

○ 一般会計予算

160,395,284 千円

3年連続収支均衡 26年ぶり

増減率

増減額

(6.5%)

(9,680,494千円)

6.8%

10,164,894千円

○ 特別会計予算

96,585,680 千円

増減率

増減額

0.5%

473,640千円

○ 公営企業会計予算

42,244,571 千円

増減率

増減額

(1.3%)

(524,963千円)

1.8%

740,963千円

○ 予算合計

299,225,535 千円

増減率

増減額

(3.7%)

(10,679,097千円)

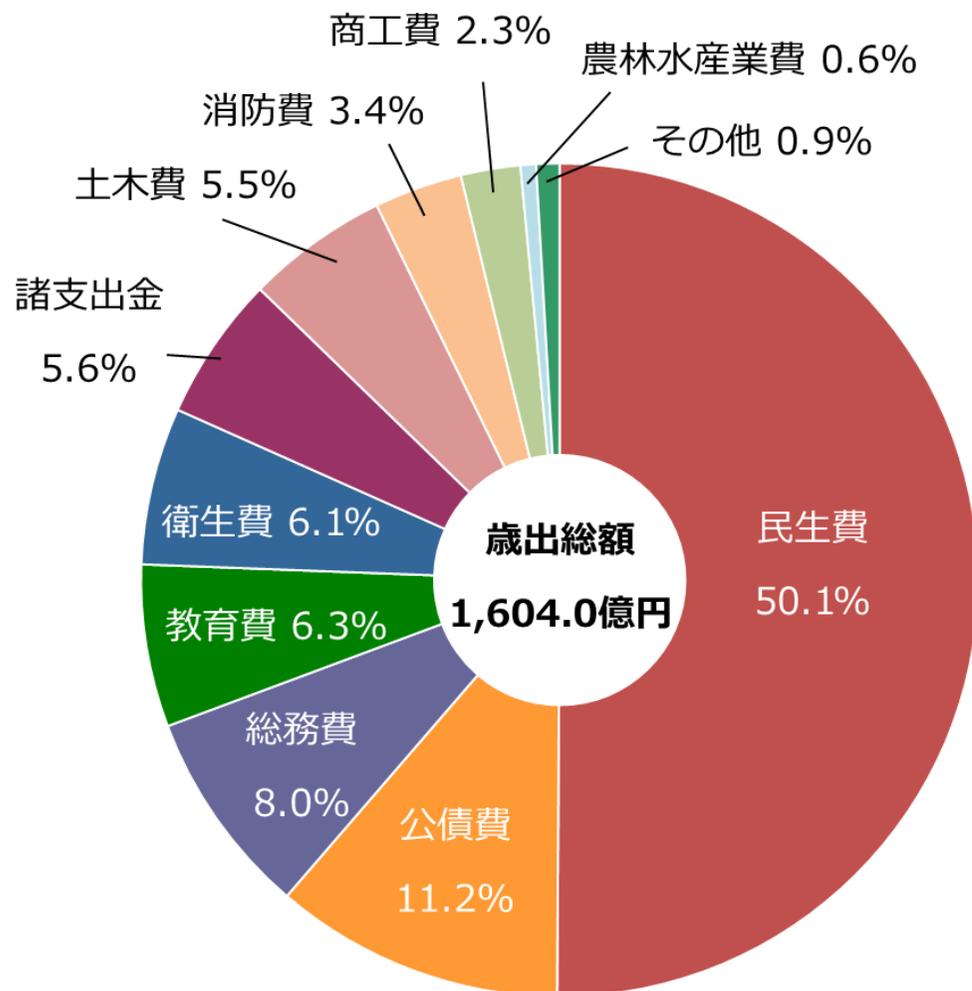
4.0%

11,379,497千円

()内は、借換えの対象となった元金償還金を除いた額です。

一般会計歳出の状況（目的別）①

（1）款別予算額の構成比



構成比の前年度からの増減

増

- ◆ 民生費 +1.6ポイント
(48.5%→50.1%)
- ◆ 土木費 +0.1ポイント
(5.4%→5.5%)

減

- ◆ 消防費 △0.7ポイント
(4.1%→3.4%)
- ◆ 教育費 △0.6ポイント
(6.9%→6.3%)

一般会計歳出の状況（目的別）②

（2）款別予算額の年度間増減

前年比101.7億円
(+6.8%)

令和6年度	令和7年度
1,502.3億円	1,604.0億円

増



減

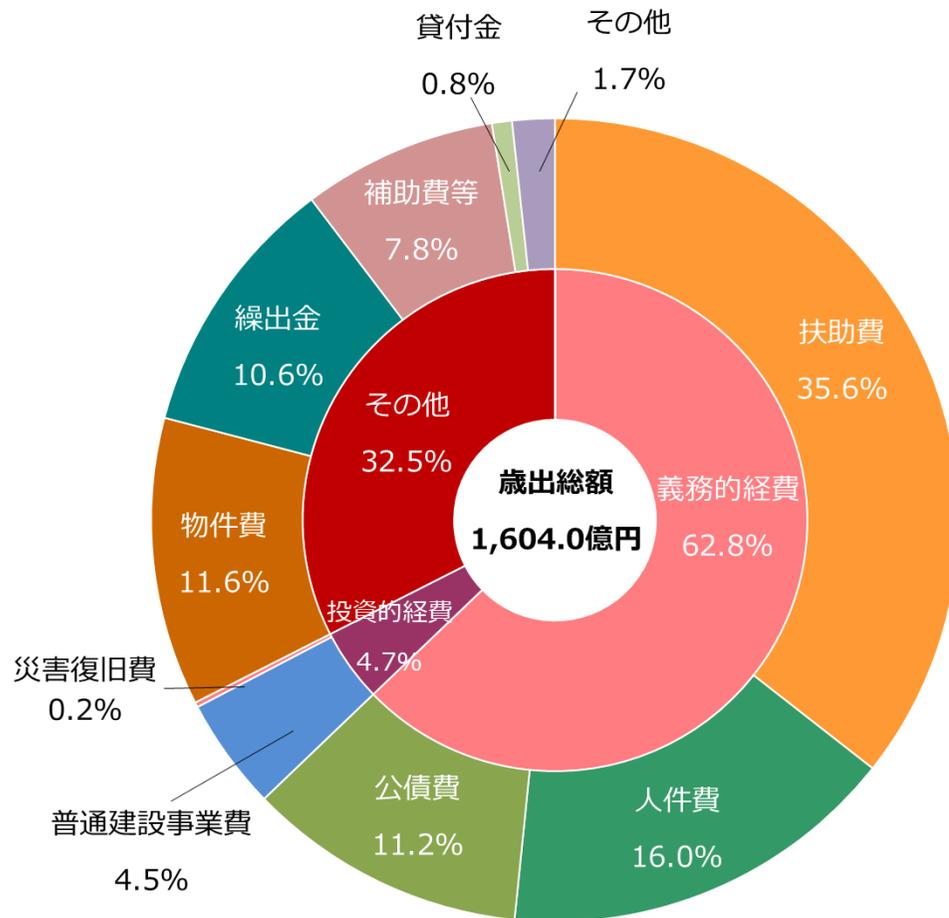
- ◆**民生費 +75.0億円 (+10.3%)**
- ・児童手当及び児童扶養手当の対象拡充 +23.1億円
 - ・障害福祉サービスに係る給付 +15.8億円
 - ・定額減税補足給付金 +15.3億円
 - ・保育施設への給付 +8.8億円
- ◆**総務費 +7.7億円 (+6.3%)**
- ・ソフトウェアの更新 +3.2億円
 - ・国勢調査 +2.0億円
 - ・参議院議員通常選挙 +1.5億円

- ◆**消防費 △6.7億円 (△11.0%)**
- ・消防指令システム構築の完了 △14.7億円
 - ・消防救急デジタル無線の再整備 +2.5億円
 - ・中消防署宮前出張所の建設 +2.6億円
 - ・化学ポンプ車等の更新 +1.5億円
 - ・人件費の増 +1.7億円
- ◆**教育費 △2.3億円 (△2.2%)**
- ・西コミュニティセンター建設の完了 △7.3億円
 - ・人件費の増 +2.5億円
 - ・市立和歌山高等学校体育館の設備改修 +1.4億円

※国補正による前倒し分を含めると+29.3億円 (+21.4%)
中学校給食センターの整備、小中学校校舎の予防改修、体育館空調の整備

一般会計歳出の状況（性質別）①

（1）性質別予算額の構成比



（ % ）は前年度の割合

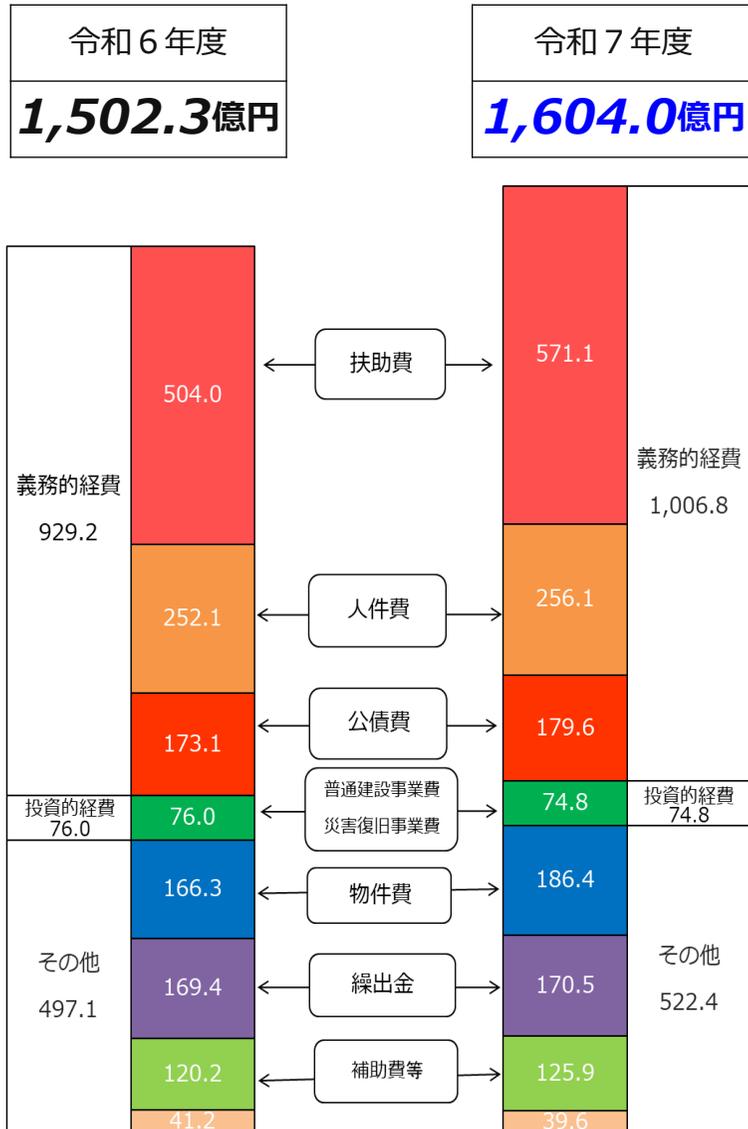
○ 義務的経費の割合	62.8%
	(61.8%)
○ 投資的経費の割合	4.7%
	(5.1%)
○ その他の割合	32.5%
	(33.1%)

- ◎ 割合が増加
扶助費・物件費など
- ◎ 割合が減少
人件費・普通建設事業費など

一般会計歳出の状況（性質別）②

（2）性質別予算額の年度間増減

前年比+101.7億円（+6.8%）



◆義務的経費 +77.6億円（+8.4%）

- ・扶助費 +67.1億円（+13.3%）
 児童手当及び児童扶養手当の拡充 +23.1億円
 障害福祉サービスに係る給付 +15.8億円
 定額減税補足給付金 +14.3億円
 保育施設への給付 +8.3億円
- ・公債費 +6.5億円（+3.7%）
 借換えによる一括償還分 +4.8億円
- ・人件費 +4.0億円（+1.6%）

◆投資的経費 △1.2億円（△1.6%）

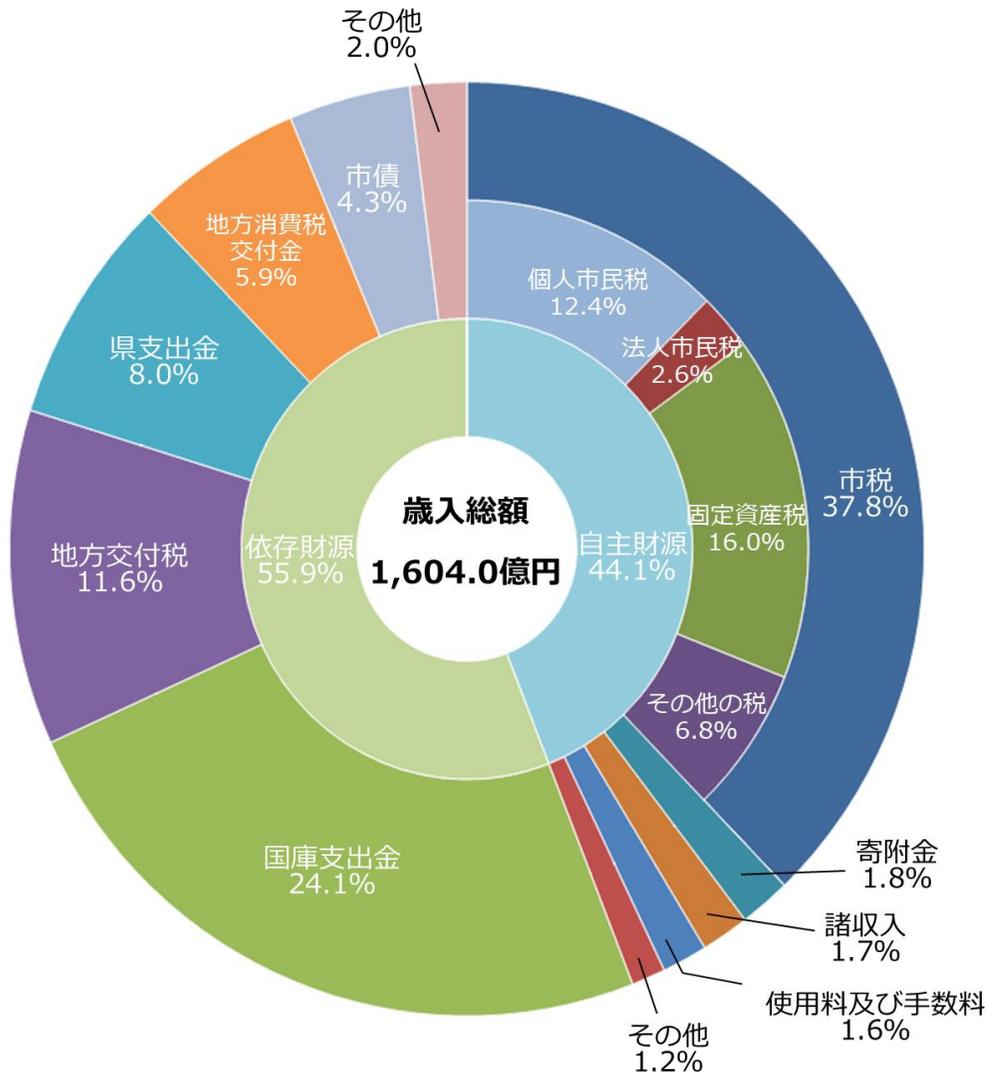
- ・普通建設事業費 △4.4億円（△5.8%）
 消防指令システム構築の完了 △14.7億円
 廃棄物処理施設の改修 +4.6億円
 中消防署宮前出張所の建設 +2.6億円
 消防救急デジタル無線の再整備 +2.5億円
- ・災害復旧費 +3.2億円（皆増）

◆その他 +25.3億円（+5.1%）

- ・物件費 +20.1億円（+12.1%）
 プレミアム付商品券+5.7億円 ソフトウェアの更新+3.2億円
 65歳以上新型コロナウイルスワクチン接種+2.8億円
 小中学校給食+2.0億円 定額減税補足給付金事務委託+1.0億円
 システム標準化+1.6億円 参議院議員通常選挙+1.0億円
- ・補助費等 +5.7億円（+4.8%）
 省エネ家電買い替え促進+1.0億円 介護保険施設への支援+1.3億円
 住宅耐震改修促進+0.7億円 万博への教育旅行参加支援+0.7億円

一般会計歳入の状況①

(1) 自主財源と依存財源の割合



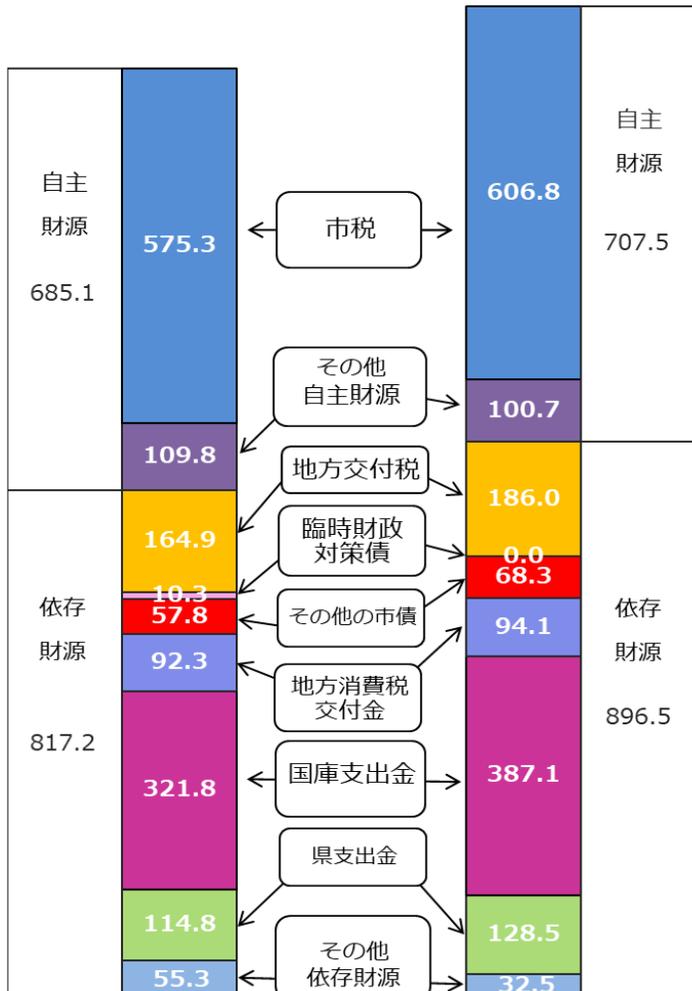
(%) は前年度の割合

- **自主財源 707.5億円**
構成比 44.1% (45.6%)
- **依存財源 896.5億円**
構成比 55.9% (54.4%)

一般会計歳入の状況②

(2) 年度間増減

令和6年度	令和7年度
1,502.3億円	1,604.0億円



自主財源 +22.4億円 (+3.3%)

- 市税 +31.5億円 (+5.5%)
 - ・個人市民税の増 +27.4億円 (定額減税24.9億円の終了による影響)
 - ・法人市民税の増 +6.2億円
- その他 △9.1億円 (△8.3%)
 - ・消防指令システム構築に係る受託収入 △7.9億円

依存財源 +79.3億円 (+9.7%)

- 国庫支出金 +65.3億円 (+20.3%)
 - ・児童手当に係る給付費等負担金 +23.1億円
 - ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 +22.4億円 (定額減税補足給付金+15.3億円 プレミアム付商品券事業+5.6億円 省エネ家電買い替え促進事業+1.0億円 私立保育所等の物価高騰対策+0.5億円)
 - ・障害福祉サービス等に係る給付費等負担金 +7.9億円
- 県支出金 +13.7億円 (+11.9%)
 - ・障害福祉サービス等に係る給付費等負担金 +4.0億円
 - ・小学校給食費無償化に係る補助 +3.7億円
 - ・介護保険施設の整備や開設準備経費に係る補助 +2.4億円
- 地方交付税 (臨時財政対策債を含む。) +10.8億円 (+6.2%)
- 市債 (臨時財政対策債を除く。) +10.5億円 (+18.2%)
 - ・水道会計出資金の増 +4.0億円
 - ・廃棄物処理施設改修費の増 +3.4億円
- その他 △22.8億円 (△41.2%)
 - ・定額減税減収補填特例交付金 △24.9億円